
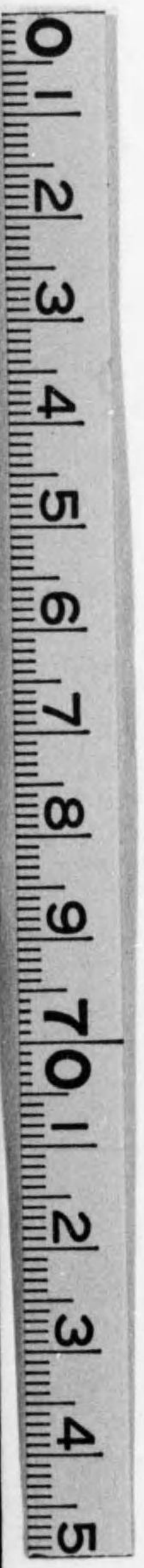


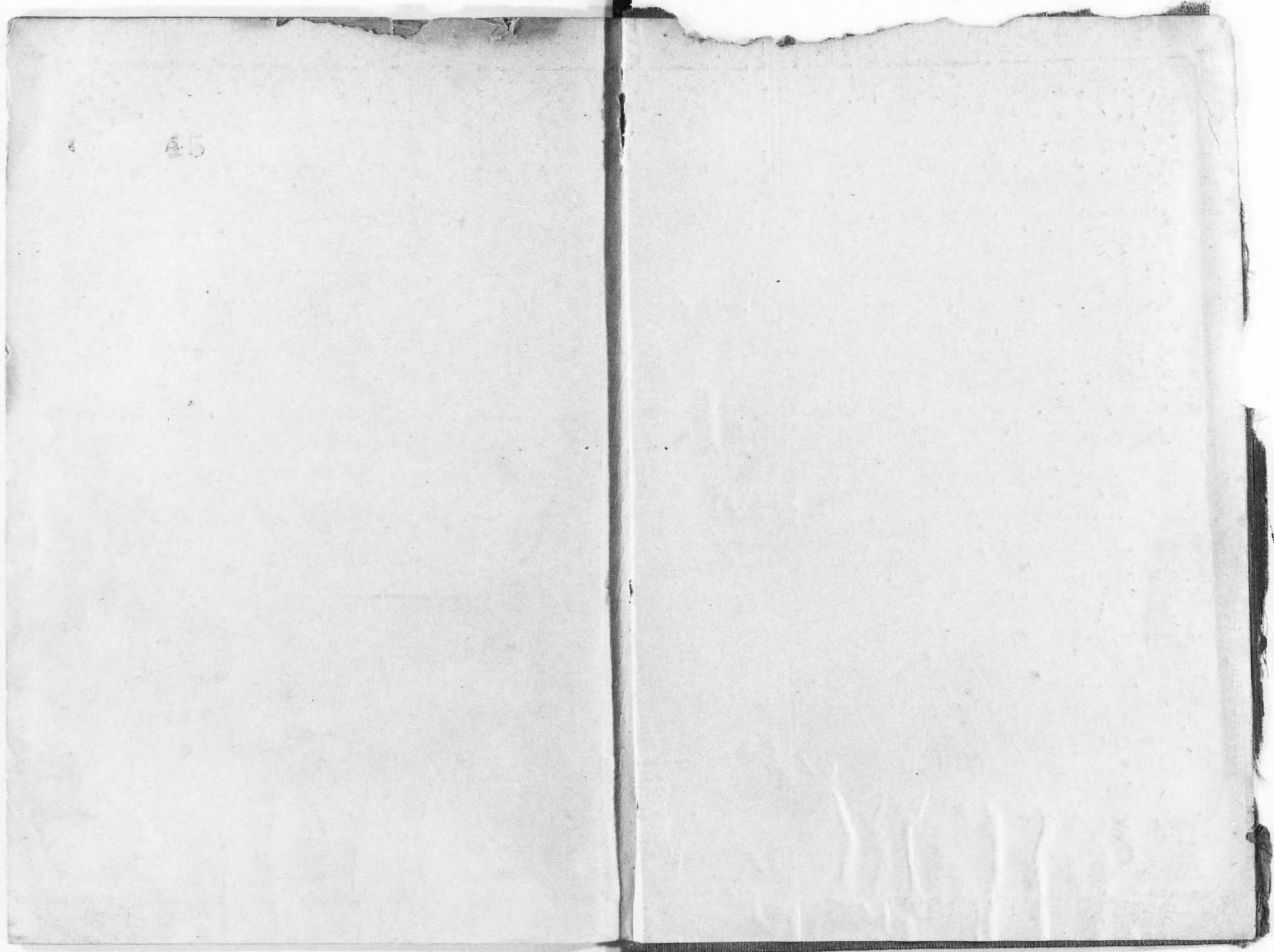
686.12
Te862

686.12-Te862ウ

1200500751035



始





45

686.12
TE862



令
規

法社
人團
鐵
道
同
志
會



906
30

凡 例

- 一、本書ハ最近實施セラレタル地方鐵道、軌道、專用鐵道ニ關スル法令ノ改正ヲ機トシ、關係事務擔當者ノ執務上ノ便ヲ圖ル目的ヲ以テ編纂セルモノナリ
- 一、本書ハ地方鐵道、軌道、專用鐵道ノ業務ノ監督ニ關スル事務ノ參考ニ資スルヲ本旨トスルト共ニ、携帶上ノ點ヲモ考慮シテ、輯録ノ範圍ハ專ラ業務監督ニ關スル部分ニ止メタリ

昭和十五年四月

編 者 識

目次

一、地方鐵道法	一
一、同施行規則	一五
一、同建設規程	八一
一、同運轉信號保安規程	一〇〇
一、同會計規程	一三〇
一、同係員職制	一三三
一、同運賃割引規程	一三九
一、同營業報告書樣式	一四一
一、同統計報告書樣式	一五六
一、軌道法	一七一
一、同施行規則	一七九
一、同職權委任ニ關スル件	二〇八

一、同運輸規程……………二二二

一、同建設規程……………二二七

一、同運轉信號保安規程……………二二六

一、同係員規程……………二四二

一、同運賃割引規程……………二四三

一、同會計規程……………二四四

一、同營業報告書様式……………二四四

一、同統計報告書様式……………二五二

一、道路法……………二六七

一、専用鐵道規程……………二八五

一、一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル件……………二八八

地方鐵道法

○地方鐵道法

(大正八年四月九日
法律第五二號)

改正
大正十年四月法律第三八號
昭和四年四月同 六二號
同十四年三月同 一九號

第一條 本法ハ軌道法ニ規定スルモノヲ除クノ外道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ公衆ノ用ニ供

スル爲敷設スル地方鐵道ニ之ヲ適用ス

地方鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス

道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ政府ノ鐵道又ハ地方鐵道

ニ接續スルモノニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 地方鐵道ハ人力又ハ馬力其ノ他之ニ類スルモノヲ以テ動力ト爲スコトヲ得ス

第三條 地方鐵道ノ軌間ハ三呎六吋トス特別ノ場合ニ在リテハ四呎八吋半又ハ二呎六吋ト爲スコ

トヲ得

前項ノ軌間ノ制限ハ命令ヲ以テ定ムル特殊ノ地方鐵道ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條 地方鐵道ハ之ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許

可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

地方鐵道法

第五條 地方鐵道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 (削除)

第七條 地方鐵道會社ノ社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第八條 鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ルニ非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

第九條 (削除)

第十條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條 免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條 地方鐵道業ヲ營ムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

一 起業目論見書

二 線路豫測圖

三 建設費概算書

四 運送營業上ノ收支概算書

免許ニハ工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ附ス

第十三條 免許ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ監督官廳ニ提出シ工事施行ノ認可ヲ受クヘシ

一 線路豫測圖

二 工事方法書

三 建設費豫算書

四 免許ヲ受ケタル者カ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ設立登記謄本

工事施行ノ認可ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス

第十四條 地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り第十二條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依リテ附セラレタル期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第十五條 左ニ掲クル土地ヲ以テ鐵道用地トス

- 一 線路用地
- 二 停車場、信號所、車庫及貨物庫等ノ建設ニ要スル土地
- 三 鐵道專用ニ供スル發電所、變電所及配電所等ノ建設ニ要スル土地
- 四 鐵道構内ニ職務上常住ヲ要スル鐵道係員ノ舍宅及運輸保線ノ職務ニ從事スル鐵道係員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地
- 五 鐵道ニ要スル車輛、器具、機械ヲ修理製作スル工場及其ノ資材、器具、機械ヲ貯藏スル倉庫等ノ建設ニ要スル土地

第十六條 道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ニ關スル工事ノ施設ハ所管行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條 政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ地方鐵道ニ接續シ若ハ之ヲ横斷シテ鐵道若ハ軌道ヲ敷設シ又ハ地方鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ横斷シテ道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ヲ造設スルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ地方鐵道業者ニ設備ノ共用又ハ變更ヲ命スルコトヲ得

設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十八條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り免許ニ屬スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十九條 左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

- 一 工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限迄ニ認可ヲ申請セサルトキ
- 二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ
- 三 工事施行ノ認可ニ附シタル工事著手ノ期限迄ニ工事ニ著手セサルトキ
- 四 營業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ相續人ハ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼スルコトヲ得

第二十條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第二十一條 地方鐵道業者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃及料金ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 地方鐵道業者ハ旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ列車ノ運轉速度、度數及發著時刻ノ變更ヲ命スルコ

トヲ得

第二十三條 監督官廳ハ監査員ヲ派遣シテ鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態、會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態及會計ノ整理ニ付法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ違ヒ又ハ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ監督官廳ハ其ノ改築又ハ改善ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ工事、運輸又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監査員ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ説明ヲ求メ金櫃、帳簿、書類及圖面ヲ檢閲スルコトヲ得

第二十四條 地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證票ヲ携帯スル者ヲ無賃ニテ乗車セシムヘシ

第二十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ陸上運送事業者ト連絡運輸、直通運輸、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合、費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十六條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ鐵道ノ貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得ス

營業又ハ運轉ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第二十七條 地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運賃ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十九條 地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第三十條 政府カ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道(工事中ノ線路ヲ含ム)ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ殘存開業線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條 買收價額ハ左ニ掲クルモノトス

一 最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含ム開業線路ニ付テハ其ノ營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ニ乗シタル額ヲ二十倍シタル金額

二 最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シタル線路ヲ含マサル開業線路ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額

三 工事中ノ線路及買收ノ日迄ニ未タ使用開始ニ至ラサル改良施設ニ付テハ買收ノ日ニ於ケル建設費以內ニ於テ協定シタル金額

前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ達セサルトキハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價格トス

第三十二條 前條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條 政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外之ニ要スル金額ヲ買收價額計算上ノ營業費ニ加算ス

第三十四條 買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第三十五條 買收代價ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ二十五圓未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ額面金額二十五圓トス

前項ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第三十五條ノ二 政府ハ買收ノ日ヨリ買收代價交付ノ日ニ至ル迄買收代價トシテ交付スヘキ國債ノ利子ニ相當スル金額ヲ概算ヲ以テ従前ノ決算期毎ニ買收セラレタル者ニ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第三十五條ノ三 第三十條第一項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者ハ未タ運輸開始ニ至ラサル殘存線路ニ付其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ申請スルコトヲ得

營業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ申請スルコトヲ得

第三十六條 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ竝行スル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコトヲ得殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ未タ運輸開始ニ至ラサル線路ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ二 前二條ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額以內ニ於テ政府之ヲ定ム

未タ工事ニ著手セサル線路ニ對スル補償金額ハ測量其ノ他ノ費用ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ政府之ヲ定ム

第三十五條及第三十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ三 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ竝行シテ鐵道ヲ敷設シタル地方鐵道ノ每營業年度ニ於ケル益金又ハ益金ト地方鐵道補助法ニ依リ受クル補助金トノ合計カ當該營業年度ノ建設費

ニ益金ノ平均割合ヲ乘シタル額ニ不足スルトキハ政府ハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ帝國鐵道特別會計收益勘定歲出豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ不足額ヲ補償スルコトヲ得但シ每營業年度ニ於ケル補償額ハ益金又ハ益金及補助金ト合セ建設費ノ百分ノ五ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ益金ノ平均割合トハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ノ屬スル營業年度ノ前營業年度末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル每營業年度ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタル殘額ノ合計ヲ除シタルモノヲ謂フ

第三十二條ノ規定ハ前二項ノ益金、建設費、營業收入及營業費ニ、地方鐵道補助法第六條及第七條ノ規定ハ第一項ノ補償ニ付之ヲ準用ス

第三十六條ノ四 主務大臣ハ地方鐵道ノ買收又ハ補償ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當該地方鐵道業者ヲシテ建設費ノ増減ヲ來スヘキ事項ニ付認可ヲ受ケシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ之ヲ受ケサルモノニ付テハ政府ハ其ノ額ヲ査定スルコトヲ得

第三十七條 地方鐵道業者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト

二 政府ニ於テ又ハ他ノ地方鐵道業者ヲシテ地方鐵道業者ノ計算ニ於テ必要ナル施設若ハ營業ノ管理ヲ爲シ又ハ爲サシムルコト

三 免許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セララルコトヲ得ス

第三十八條 免許ヲ受ケスシテ地方鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ

二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ

四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類、圖面ノ提出若ハ調製ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ

第四十條 前二條ノ規定ハ公共團體カ地方鐵道業ヲ營ム場合ニ之ヲ適用ス

附則

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年八月勅令第三七四號ヲ以テ同年八月十五日ヨリ施行)

第四十二條 私設鐵道法及輕便鐵道法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル免許若ハ指定、許可又ハ認可ハ本法ニ依リテ爲シタル免許、許可又ハ認可ト看做ス但シ其ノ免許若ハ指定、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第二條及第三條ノ規定ハ舊法ニ依リテ免許又ハ指定ヲ受ケタルモノニ之ヲ適用セス

第四十三條 輕便鐵道法ニ依リテ輕便鐵道抵當原簿ニ登録セラレタル事項ハ之ヲ鐵道抵當法ニ依リ鐵道抵當原簿ニ登録セラレタルモノト看做シ輕便鐵道抵當原簿ハ鐵道抵當原簿ト看做ス

第四十四條 輕便鐵道法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル

場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條 軌道又ハ專用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

附則 (大正十四年四月法律第三八號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十年八月勅令第三七三號ヲ以テ同年八月十五日ヨリ施行)

附則 (昭和四年四月法律第六二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年十二月勅令第三三八號ヲ以テ同年十月五日ヨリ施行)

附則 (昭和十四年三月法律第一九號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和九年法律第二十二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年法律第十九號中地方鐵道法第二十五條、第三十一條、第三十三條、第三十五條、第三十六條ノ二、第三十六條ノ三及第三十六條ノ五ノ改正ニ關スル規定竝ニ附則第二項ノ規定ハ昭和十四年四月二十五日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十三年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○地方鐵道法施行規則

(大正八年八月十三日 關令第一〇號)

改正 大正十年八月 昭和四年十二月 同五年六月 同十四年月八
鐵道省令第一號 同第三號 同第八號 同第五號

第一條 地方鐵道ノ免許、許可及認可申請書竝届出ニシテ地方長官ヲ經由スヘキモノハ鐵道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル地方鐵道ニ在リテハ其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第二條 地方長官ハ免許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書及免許ノ許否ニ關スル意見書ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

一 申請書ノ資産及信用程度

二 事業ノ成否

三 事業ノ效用

四 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等(未開業ノモノヲ含ム)ニ及ホス影響

五 他ノ鐵道、軌道、索道又ハ自動車等ノ競願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者及申請書ノ受

付年月日

六 其ノ他必要ト認ムル事項
前條但書ノ場合ニ於テハ免許申請書ヲ受付ケタル地方長官ハ關係地方長官ニ商議シ前項ノ調査書及意見書ヲ作製スヘシ

第三條 免許ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ申請者又ハ其ノ代理人記名捺印スヘシ但シ代理人ニ於テ記名捺印スルトキハ代理權ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合契約書ノ謄本
- 二 會社ヲ設立セムトスルモノニ在リテハ定款ノ謄本
- 三 既設會社ニ在リテハ地方鐵道ノ營業ヲ目的トスルモノヲ除クノ外定款及登記謄本
- 四 公共團體ニ在リテハ地方鐵道經營ニ關スル決議要領書

第四條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 目的
- 二 商號又ハ名稱及主タル事務所ノ設置地
- 三 鐵道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法
- 四 線路ノ起終點及其ノ經過スヘキ主ナル市町村名並線路ノ一部ヲ道路ニ敷設セムトスルトキハ

其ノ區間及道路ノ種別

五 軌間

六 動力 蒸氣、電氣等ノ別、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スルモノニ在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノニ在リテハ供給者名

第五條 線路豫測圖ハ左ノ二種トス

一 平面圖

縮尺ハ二萬五千分ノ一以上トシ線路經過地ノ地名及地勢、停車場ノ位置及名稱並一杆毎ニ杆程ヲ記シ方位ヲ示スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ハ距離ヲ二萬五千分ノ一以上、高ヲ二千分ノ一以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低ヲ示シ隧道及橋梁ノ長、線路ノ勾配並停車場ノ位置及名稱ヲ記スヘシ

第六條 建設費ノ概算書ハ第一號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 運送營業上ノ收支概算書ハ第二號様式ニ依リ之ヲ調製シ第三號様式ニ依ル運輸數量表ヲ添附スヘシ

第七條ノ二 地方鐵道法第三條第二項ノ規定ニ依リ軌間ノ制限ヲ適用セサル地方鐵道ハ左ノ通トス

一 鋼索鐵道

二 懸垂鐵道

第八條 免許ヲ受ケタル者會社ノ發起人又ハ組合員ナルトキハ發起人又ハ法人ニ非サル組合ノ組合員ノ加入又ハ脱退(死亡及除名ヲ含ム)ハ遲滯ナク地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第九條 免許ヲ受ケタル後工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所

ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ遲滯ナク地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第十條 工事施行ノ認可申請書ハ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

鐵道カ二府縣以上ニ互ル場合ニ於テハ其ノ關係部分ニ對スル書類及圖面ノ謄本ヲ調製シ之ヲ關係地方長官ニ提出スヘシ

第十一條 線路實測圖ハ左ノ二種トス

一 平面圖

縮尺ハ二萬五千分ノ一以上トシ線路ノ左右各二百米以内ノ地勢ヲ明ニシ其ノ他附近ノ市街、村落、社寺、名勝、舊蹟、公園、道路、鐵道、軌道、山岳、河川氾濫地域ヲ記載スルコト、運河、港灣、要塞地等ヲ記シ府、縣、郡、市、町、村ノ境界及方位ヲ示スヘシ

線路中心線ニハ一杆毎ニ杆程ヲ記シ曲線ノ半徑及交角並停車場、停留場及信號所ノ位置、名稱及中心杆程ヲ記スヘシ

二 縱斷面圖

縮尺ノ長ハ平面圖ト同一ニシテ高ハ二千分ノ一以上トシ中心線地面及施工基面ノ高低並築堤ノ高及切取ノ深ヲ二百米毎ニ記シ隧道ノ長、橋梁溝橋ヲ含ムノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、停車場、停留場及信號所ノ名稱及中心杆程、重要ナル踏切道並線路ノ勾配ヲ記スヘシ

線路カ他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉、連絡又ハ接近スルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ前後各一杆間ノ中心線及高低ノ關係ヲ明ニスヘシ

線路カ市街地ヲ通過シ又ハ之ニ接近スルトキハ別ニ縮尺二千五百分ノ一平面圖及縮尺長二千五百分ノ一高四百分ノ一ノ縱斷面圖ヲ添附スヘシ

第十二條 工事方法書ニハ左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

- 一 動力
 - 二 軌間
 - 三 單線、複線等ノ別及其ノ區間
 - 四 軌道ノ中心間隔
 - 五 建築定規及車輛定規 各部寸法、兩定規相互ノ關係及建築定規軌條部分ノ明細ヲ記入シタル圖面ニ依リ明示スルコト
 - 六 最少曲線半徑
 - 七 最急勾配
 - 八 土工定規 第四號樣式ニ依ル圖面添附
 - (イ) 線路施工基面ノ幅 築堤、切取等ヲ區別シ側溝ヲ除キタル幅ヲ記載スルコト
 - (ロ) 築堤及切取斜面ノ勾配 高又ハ地質ニ應スル斜面ノ勾配ヲ記載スルコト
 - (ハ) 用地ノ限界 築堤法尻又ハ切取法肩ヨリ用地ノ境界迄距離ヲ乾地濕地ニ區別シ記載スルコト
- 九 橋梁
- (イ) 橋臺、橋脚 粗石積、煉瓦積、混凝土工、木造等ノ別ヲ記載スルコト

- (ロ) 基礎 杭打混凝土工、煉瓦沈井工等ノ別ヲ記載スルコト
 - (ハ) 桁 鋼、鐵筋混凝土、松等ノ別並工字形桁、鈑桁、構桁等ノ別ヲ記載スルコト
 - (ニ) 拱 煉瓦卷、鐵筋混凝土工等ノ別ヲ記載スルコト
 - (ホ) 橋梁ノ所定動荷重及桁ノ最大應力 第五號樣式ニ依ル圖表添附
 - (ヘ) 重要ナル架橋河川ノ平水位、最高水位及其ノ水位ト桁ノ下端トノ距離
 - (イ)乃至(ニ)ニ付テハ各部ノ材質及構造寸法ヲ示ス設計圖並異ル徑間ヲ使用スル橋梁ニ在リテハ徑間配置圖ヲ各橋梁毎ニ添附スヘシ但シ模範設計ヲ定メ之ヲ適用スヘキ箇所ヲ示シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 十 隧道
- (イ) 各其ノ地質ニ應スル施行斷面 拱、側壁、仰拱及排水渠ノ材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
 - (ロ) 坑門 材質及構造寸法ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
- 十一 軌條、轉轍器、轍叉及枕木
- (イ) 軌條ノ重量 重量ノ異ル軌條ヲ使用スルトキハ各軌條ノ使用區間ヲ明示スルコト

(ロ) 軌條及附屬品ノ材質及形狀 軌條又ハ附屬品ノ異ル毎ニ形狀寸法ヲ明示スル圖面添附

(ハ) 轉轍器及轍又ノ構造 轉轍器ニ在リテハ重錘取柄式又ハ自動彈機式等ノ別、轍又ニ在リテハ番號ヲ記シ轉轍器尖端軌條ノ開キ並轍又翼軌條及護輪軌條ノ間隔等各部ノ寸法ヲ詳記セル圖面添附

(ニ) 枕木ノ寸法及敷設間隔 軌條重量ノ異ル毎ニ中心距離ノ最大ナルモノヲ記載スルコト

十二 停車場、停留場及信號所

(イ) 建造物、配線、用地境界及實測中心程 本屋、待合所、貨物庫、車庫、乘降場、貨物積卸器、石炭臺、灰坑等ノ位置、乘降場及貨物積卸場ノ長及幅、轍又ノ番號、線路ノ配置、用地境界及實測中心程ヲ平面圖(縮尺千分ノ一)ニ依リ明示スルコト

(ロ) 軌道ト乘降場及貨物積卸場トノ關係 橫斷面圖ニ依リ

(ハ) 聯動裝置圖表ヲ添附シ説明スルコト

十三 他ノ鐵道又ハ軌道トノ交叉方法 交叉設計圖ヲ添附シ停車場、信號所以外ニ於テ人力又ハ馬力ヲ動力トスル鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ

保安設備ニ付説明スルコト

十四 閉塞信號機 設計及位置ヲ明示スル圖面ヲ添附シ作用ヲ説明スルコト

十五 車輛

(イ) 機關車

一 形式 四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト

一 輛數

一 重量 運轉整備ノトキニ於ケル總重量ヲ噸ヲ以テ記載スルコト

一 働輪一對ノ軌條面最大壓力 運轉整備ノトキニ於ケル重量ヲ噸ヲ以テ記載スルコト

(ロ) 客車及貨車

一 車種 ボギー車、四輪車等ノ別ヲ記載スルコト

一 輛數

一 自重 噸ヲ以テ記載スルコト

一 定員

一 荷量 噸ヲ以テ記載スルコト

(ハ) 汽動車 機關車及客貨車ニ準シ記載スルコト

十六 車輛修繕設備ノ大要

十七 特殊設計

地方鐵道法施行規則

電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ實施設計ヲ記載スヘシ

一 送電系統 發電所、變電所、蓄電所、配電所及電車線路間相互ノ送電關係ヲ圖面ニ依リ明示スルコト

二 電氣鐵道ノ方式 直流、交流、架空單線式、架空複線式、第三軌條式等ノ別及電車線ノ電壓ヲ記載スルコト

三 發電所、變電所、蓄電所及配電所

(イ) 所在地 府、縣、郡、市、町、村、番地ヲ記載スルコト

(ロ) 出力最大出力、平均出力及最大出力ノ繼續時間ヲ記載スルコト

(ハ) 原動機、發電機、電動發電機、回轉變流機、周波數變換機、變壓器、蓄電池、昇壓機

等ノ種類、箇數 常用ト豫備トニ別容量キロワット數、キロヴォルトアンペア時數ヲ記載スルコト 電壓、電流、相

及周波數

四 送電線路及饋電線路 電線路毎ニ記載スルコト

(イ) 電氣方式 直流及交流ノ別並相及最大電壓 線式ヲ記載スルコト

(ロ) 電線路ノ構造

一 電線ノ種類 材質 單線、複線、被覆線及太サ 及裸線ノ別ヲ記載スルコト

一 架設方法 架空式ニ在リテハ木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別、地中式ニ在リテハ暗渠、線渠、直接埋設等ノ別ヲ記載スルコト

五 電車線路

(イ) 架空複線式

一 電線ノ種類、太サ及吊架方法 スパン線式又ハブラケット式及直接吊線式又ハ鏈線吊線式等ノ別ヲ記載シ其ノ構造寸法ヲ示ス圖面添附

一 支持物ノ種類 木柱、鐵柱、鐵塔等 建植方法 中央柱及側柱ノ別 柱間距離 平均及最大距離 離六十米以上ナルトキハ其ノ電線ノ弛度 及支持物ノ強度ニ關スル計算ヲ示スコト

一 他ノ建造物トノ關係上施設スヘキ設計 圖面ヲ添附シ

說明スルコト

(ロ) 架空單線式

一 (イ)ニ掲クル事項

一 軌道ノ接續方法 圖面ヲ添附シ 說明スルコト

一 補助線及軌條ボンドノ種類及太サ

(ハ) 第三軌條式

一 敷設方法 圖面ヲ添附シ 說明スルコト

一 第三軌條ノ重量及形狀

地方鐵道法施行規則

- 一 第三軌條及軌道軌條ノ接續方法圖面ヲ添附シ
説明スルコト
一 軌條ボンドノ種類及太サ

六 電氣機關車及電車

- (イ) 電動機ノ種類、箇數、出力及電壓
(ロ) 制御裝置ノ種類及制御器ノ箇數
(ハ) 聚電裝置ノ種類及箇數

七 鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合

- (イ) 供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及供給時間
(ロ) 送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點圖面ニ依リ明
示スルコト
(ハ) 受電設備ノ大要圖面ヲ添附シ
説明スルコト

第十三條 他ノ鐵道又ハ軌道ト交叉又ハ連絡スル場合ニ於テハ交叉又ハ連絡ニ關スル協定書ノ謄本及鐵道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受クル場合ニ於テハ供給契約書ノ謄本ヲ工事方法書ニ添附スヘシ

第十四條 建設費豫算書ハ第六號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

建設費豫算總額ノ變更ハ第七號様式ニ依リ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第十五條 免許ヲ受ケタル鐵道線路ノ全部ニ對シ工事施行ノ認可ヲ一時ニ申請スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ具シ分割シテ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十六條 地方鐵道法第十四條ノ規定ニ依ル期限伸長ノ申請書ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第十七條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路又ハ工事方法書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ第十一條及第十二條ノ規定ニ準シ線路實測圖及變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書線路及停車場ノ變更ニ在
リテハ新舊對照圖添附ヲ調製シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ運輸開始後ニ於ケル變更ニ限リ同時ニ認可申請書ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ
前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

停車場ノ廢止、線路及橋梁ノ重要ナル變更並竝洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ノ認可申請書ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第十八條 線路及工事方法書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ左ニ掲クルモノハ其ノ理由ヲ具シ新舊

ヲ對照シ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

- 一 線路中心線ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ左右各二十米以内其ノ他ノ地ニ在リテハ各百米以内ナルトキ添附圖面
- 二 曲線ノ半徑ヲ變更シテ之ヲ長カラシムルトキ又ハ軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ六百六十米迄其ノ他ノモノニ在リテハ二百四十米迄之ヲ短縮スルトキ添附圖面
- 三 施工基面高低ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ六百耗以内其ノ他ノ地ニ在リテハ千八百耗以内ナルトキ添附圖面
- 四 線路ノ勾配ヲ變更シテ之ヲ緩ナラシムルトキ又ハ電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ千分ノ二十五迄其ノ他ノモノニ在リテハ千分ノ十七迄之ヲ急ナラシムルトキ添附圖面
- 五 線路ノ勾配千分ノ五ヨリ急ナラサル箇所ニ於ケル停車場ノ中心程ノ變更カ市街又ハ家屋稠密ノ地ニ在リテハ二十米以内其ノ他ノ地ニ在リテハ百米以内ナルトキ添附圖面
- 六 停車場、停留場及信號所ノ名稱變更
- 七 停留場及側線ノ設ナキ信號所ノ新設又ハ位置變更添附圖面
- 八 踏切道ノ増減

九 六米以内ノ橋梁及百米以内ノ隧道ノ廢止並認可ヲ得タル設計ト同一設計ニ依ル橋梁及隧道ノ新設又ハ伸縮添附圖面

十 停車場、停留場及信號所ニ於ケル建造物及配線ノ伸縮増減停車場ヲ停留場ニ又ハ停留場ヲ停車場ニ變更スル場合ヲ除ク並用地境界ノ變更添附圖面

洪水氾濫地域ニ於ケル線路及橋梁ノ變更ニ付テハ前條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第十九條 工事ニ著手シタルトキハ一週間以内ニ鐵道大臣ニ之ヲ届出テ毎年六月及十二月ノ末日現在ニ依リ翌月十五日迄ニ第八號様式ニ依ル工程表ヲ提出スヘシ

第二十條 車輛ニ關シテハ其ノ製作又ハ購入前設計ヲ定メ左ノ事項ヲ記載シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ政府ノ鐵道所屬ノ車輛又ハ既認可ノ車輛ニシテ改造ヲ加ヘサルモノヲ購入スル場合ニ於テハ前使用者名、舊形式稱號及番號ヲ記載シ左ノ事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一 機關車設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト

(イ) 形式 四輪聯結六輪タンク機關車、六輪聯結十輪テンダー機關車等ノ別ヲ記載スルコト

(ロ) 輛數

(ハ) 重量 運轉整備ノトキニ於ケル機關車及炭水車ノ各車輪一對ノ軌條面壓力ヲ飭ヲ以テ記載スルコト

地方鐵道法施行規則

地方鐵道法施行規則

- (ニ) 主要寸法 平面、側面及端面並要部ノ断面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入シタル組立圖ヲ添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト
 - 一 最大寸法 長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル最突出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離
 - 一 車輪輪軸距 機關車及炭水車ヲ區別シ固定輪軸距、全輪軸距、機關車及炭水車ヲ合シタル全輪軸距
 - 一 軌條面ヨリ緩衝器及聯結器ノ中心迄ノ高
 - 一 兩側緩衝器中心間ノ距離
- (ホ) 汽罐ノ構造 罐胴、煙櫃及火室ノ構造寸法並各釜ノ繼手及各種繫桿ノ構造配置ヲ示ス圖面添附
 - 一 火床面積 平方米ヲ以テ記載スルコト
 - 一 傳熱面積 總面積ヲ記載シ焔管ノ面積、火室ノ面積、過熱面積等ヲ區別シ平方米ヲ以テ記載スルコト
 - 一 焰管ノ外徑及長 長ハ管鉸間ニテ計リタモノヲ記載スルコト
 - 一 實用最高汽壓 一平方種ニ付疋ヲ以テ記載スルコト
- (ヘ) 汽機ノ構造 汽笛ノ直徑及衝程ヲ記載シ汽笛及汽櫃ノ構造並摺動弁運動裝置ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
- (ト) 臺框ノ構造 圖面ニ依リ明示スルコト
- (チ) 聯結桿及併行桿ノ構造 圖面ニ依リ明示スルコト

- (リ) トラツクノ構造 圖面ニ依リ明示スルコト
- (ヌ) 車輪車軸ノ構造 車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現尺断面圖及車輪ト轍又トノ關係ヲ明示セル断面圖添附
 - 一 車輪ノ直徑 齒輪、導輪、從輪及炭水車ノ各輪ヲ區別シ記載スルコト
 - 一 車輪一對ノ輪鐵内側距離
- (ル) 擔彈機ノ構造及裝置 圖面ニ依リ明示スルコト
- (ヲ) 緩衝器、聯結器ノ種類及構造 兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト
- (ワ) 制動機ノ種類及裝置 手用、蒸氣、真空制動機等ノ別ヲ記載シ制動裝置圖面添附
- (カ) 燃料櫃ノ容積 立方米ヲ以テ記載スルコト 及 水槽容積 立方米ヲ以テ記載スルコト
- (ヨ) 牽引重量 一時間三十二軒ノ速度ニテ千分ノ十勾配ヲ上ルトキ計算上牽引シ得ヘキ重量ヲ應テ以テ記載スルコト 但シ軌間七百六十二軒ノ鐵道ニ在リテハ十六軒ノ速度ニ依リ計算スルコト
- (タ) 特殊設計 圖面ヲ添附シ構造裝置ヲ説明スルコト
- 二 客車及貨車設計ノ異ル毎ニ設計書ヲ作製スルコト
 - (イ) 車種 ボギー車、四輪車等ノ別、客車ニ在リテハ特等、並等、手小荷物緩急車等、貨車ニ在リテハ有蓋、無蓋、貨物緩急車等ノ別ヲ記載スルコト

地方鐵道法施行規則

(ロ) 輛數

(ハ) 自重 噸ヲ以テ記
載スルコト

(ニ) 定員 座席定員及起立定員ヲ
等級別ニ記載スルコト

(ホ) 定員一人ニ對スル客室面積 等級ニ依リ區別シ平方
米ヲ以テ記載スルコト

(ヘ) 積載容積及荷重 郵便室、手小荷物室等ヲ區別シ積載容積
ハ立方米、荷重ハ噸ヲ以テ記載スルコト

(ト) 主要寸法 平面、側面及端面並要部ノ断面ヲ示シ且主要ナル構造寸法ヲ記入
シタル組立圖ヲ添附シ端面圖ニハ車輛定規トノ關係ヲ示スコト

一 最大寸法 長ハ前後緩衝器間ノ距離、幅ハ車體中心線ヨリ側部ニ於ケル
最突出部迄ノ距離ノ二倍、高ハ軌條面ヨリ最高部迄ノ距離

一 車體内寸法 客車ニ在リテハ各客室、郵便室、手小荷物室、車掌室ヲ貨車ニ在
リテハ車掌室アルモノハ之ヲ區別シ長、幅及高ヲ記載スルコト

一 固定輪軸距及ボギー中心間ノ距離

一 軌條面ヨリ緩衝器及聯結器ノ中心迄ノ高空車ノ
トキ

一 兩側緩衝器中心間ノ距離

(チ) 臺框ノ構造 圖面ニ依リ明
示スルコト

(リ) トラックノ構造 圖面ニ依リ明
示スルコト

(ヌ) 車輪車軸ノ構造 車輪車軸圖、作圖上必要ナル寸法ヲ詳記シタル輪鐵ノ現
尺断面圖及車輪ト轍又トノ關係ヲ明示セル断面圖添附

一 車輪ノ直徑

一 車輪一對ノ輪鐵内側距離

(ル) 擔彈機ノ構造及裝置 圖面ニ依リ明
示スルコト

(ヲ) 緩衝器及聯結器ノ種類及構造 兩側緩衝器、中央緩衝聯結器、自動聯結器、螺旋聯結器、連
環聯結器等ノ別ヲ記載シ其ノ構造ヲ圖面ニ依リ明示スルコト

(ワ) 制動機ノ種類及裝置 手用、壓搾空氣、車側制動機等
ノ別ヲ記載シ制動裝置圖添附

(カ) 客車内點燈ノ種類及設備 電燈ニ在リテハ
電線接續圖添附

(ヨ) 特殊設計 圖面ヲ添附シ構造裝
置ヲ説明スルコト

三 汽動車 機關車及客貨車ニ
準シ記載スルコト

四 電氣機關車及電車

(イ) 第一號及第二號ニ掲クル事項

(ロ) 電動機ノ構造 圖面添附 種類、箇數、出力、齒車ノ比 電動機及齒輪ノ回轉數及電壓
ノ割合ヲ記載スルコト

(ハ) 制御器ノ種類、箇數及裝置

(ニ) 聚電裝置ノ構造圖面種類及箇數添附種類及箇數

(ホ) 車內電線接續圖面ニ依リ明示スルコト

車輛ノ圖面ニハ第九號様式ニ依ル主要材料表ヲ添附スヘシ

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル後車輛ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ新舊ヲ對照シ其ノ理由及圖面ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クルモノハ其ノ理由ヲ具シ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

- 一 認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル車輛ノ改造
- 二 認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル客車及貨車ノ車種變更
- 三 客車內點燈ノ種類及設備ノ變更電燈ニ在リテハ電線接續圖添附
- 四 定員又ハ定員一人ニ對スル客室面積ノ變更
- 五 吊革又ハ網棚ノ設置、廢止又ハ變更及坐席、煖房其ノ他客車內設備ノ輕微ナル變更必要ニ應シ圖面添附

認可ヲ受ケタル設計ト同一設計ニ依ル車輛ノ増加ニ付テハ其ノ理由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依ル申請書ニ付テハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第二十二條 車輛ヲ製作、購入又ハ改造シタルトキハ第十號様式ニ準シ形式稱號ノ異ル毎ニ竣功圖ヲ添附シ鐵道大臣ニ届出ツヘシ

第二十三條 運輸開始ノ認可申請書ニハ左ノ圖面及諸表ヲ添附シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

- 一 線路平面圖及縱斷面圖第十一條ノ規定ニ準シ之ヲ作製シ線路實測行程ニ伸縮差アルトキハ停車場、停留場及信號所ノ換算中心行程ヲ併記スルコト
- 二 電氣工事竣功圖表第十一號様式

地方鐵道法第十六條ニ規定スル工事竣功セサルトキハ運輸開始ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス但シ其ノ工事ニ付所管行政廳ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 運輸ヲ開始シタルトキハ即日電信、電話又ハ口頭ヲ以テ鐵道大臣及所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第二十四條ノ二 軌道ヲ地方鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由竝左ノ書類及圖面ヲ具シ地方官ヲ經由シ鐵道大臣及內務大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ內務大臣ニ提出スル申請書ニハ書類及圖面ヲ具備スルコトヲ要セス



- 一 工事施行ノ認可ヲ受ケサル區間ニ在リテハ第三條、第四條第三號、第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類及圖面
- 二 工事施行ノ認可ヲ受ケタル區間ニ在リテハ第三條、第十一條、第十二條、第十四條及第二十条ノ規定ニ依ル書類及圖面

軌道ノ特許又ハ工事施行ノ認可申請ニ際シ提出シタル書類又ハ圖面ニシテ前項ニ掲クル書類又ハ圖面ニ該當スルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記シ之カ提出ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條ノ三 専用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更ノ許可申請書ニハ其ノ理由及運送營業上ノ收支概算書ヲ具シ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前條第一項第二號、第二項及第七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 假設工事ヲ施行セムトスルトキハ其ノ理由、工事設計書及圖面ヲ具シ使用期間ヲ定メ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ運輸開始後ニ於ケル假設工事ニシテ第十八條第一項各號ノ一ニ該當スルモノハ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

天災事變ノ際一時ノ用ニ供スル爲假設工事ヲ施行シタルトキハ其ノ使用期間ヲ定メ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ但シ運輸開始後ニ於ケル假設工事ニ付テハ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

洪水氾濫地域ニ係ル線路及橋梁ニ關スル假設工事及流水断面ヲ縮小スル橋梁ニ關スル假設工事ニ付テハ認可申請書及運輸開始前ニ於ケル届書ハ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出シ運輸開始後ニ於ケル届書ハ地方長官及所管鐵道局長ニ之ヲ提出スヘシ

運輸開始後ニ於ケル假設工事ノ認可申請書ニ付テハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第二十六條 他ノ鐵道又ハ軌道ノ車輛ヲ運轉セムトスルトキハ該車輛ノ屬スル鐵道又ハ軌道及車輛

一對ノ軌條面最大壓力ヲ記載シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

機關車ニ在リテハ前項ノ外形式稱號及番號ヲ附記スヘシ

第一項ノ認可申請書ニ付テハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第二十七條 「削除」(昭和十五年一月一日) 株金全額拂込前ノ資本増加ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ資本増加ヲ決議シタル株主總會ノ議事及決議ノ要領書株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本添附ヲ添附シ延長線路ノ

工事施行ノ認可申請書又ハ改良工事ノ認可申請書ト同時ニ之ヲ提出スヘシ

第二十八條 「削除」(昭和十五年一月一日) 後配株發行ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ地方鐵道法第六條ノ三ノ規定ニ依リ株式申込證ニ記載スヘキ事項ヲ記載シタル書類及後配株發行ヲ決議シタル株主總會ノ議事及決議ノ要領書株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ同意書ノ謄本添附ヲ添附シ延長線路ノ工事施行ノ認可申請書ト

同時ニ之ヲ提出スヘシ
後配株ノ期間ヲ伸長セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ後配株主總會ノ議事及決議ノ要領書ヲ添附シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條 「削除」(昭和十五年一月一日)地方鐵道法第六條ノ三第三號ノ規定ニ依ル延長線ノ工事ノ大要ニ付テハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 線路ノ延長及單線、複線等ノ別
- 二 軌間
- 三 動力
- 四 停車場及停留場ノ豫定位置
- 五 開業豫定期
- 六 建設費豫算額

第三十條 會社合併ノ認可申請書ニハ合併ノ事由ヲ具シ連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

- 一 株主總會又ハ社員總會ノ議事及決議(書面ニ依ル決議ヲ含ム以下同シ)ノ要領書、無限責任社

員又ハ總社員ノ同意書ノ謄本

- 二 合併契約書ノ謄本

- 三 合併比率決定ノ説明書

第三十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主任技術者ヲ置キ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ

主任技術者ヲ置キタルトキハ遲滯ナク其ノ履歷書ヲ添附シ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ鐵道大臣ハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第三十二條 鐵道ノ讓渡、貸借又ハ營業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ其ノ受託ノ許可申請書ハ連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

- 一 株主總會又ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ總社員若ハ組合員ノ同意書ノ謄本
 - 二 讓渡、貸借又ハ管理委託ニ關スル契約書ノ謄本
- 鐵道ノ讓渡許可申請書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第三十三條 車輛ノ讓渡、廢止又ハ貨渡ヲ爲シタルトキハ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ但シ二月以内ノ貨渡ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ届書ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第三十四條 旅客運賃ノ認可申請書ニハ^{第十二號様式ニ依ル} 秆制ニ在リテハ對秆運賃^{第十二號様式ニ依ル} 區間制ニ在リテハ各區

間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃ヲ記載シ各驛ノ實測換算中心秆程表^{第十三號様式} 及營業秆程表^{第十四號様式}ヲ添附スヘシ

四號様式ヲ添附スヘシ

第三十五條 荷物運賃ノ認可申請書ニハ手荷物、小荷物及大貨物ヲ區別シ秆制ニ在リテハ對秆運賃、

均一制ニ在リテハ均一運賃並荷物ノ品種及等級ヲ記載シ計算方法^{計算上生シタル厘以下ノ取捨、重量、容積ノ計算方法等ヲ説明スル}

トヲ附記スヘシ

大貨物ニ關シ別ニ營業秆程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ増加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ計算方

法^{割増ニ依リテ生シタ}ル秆未滿端數ノ取捨ヲ附記スヘシ

第三十五條ノ二 前二條ノ認可申請書ハ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第三十六條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫

算書ヲ添附シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ所管鐵道局長ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第三十七條 前四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ各驛間

ノ旅客運賃表^{第十五號様式} 及大貨物營業秆程表^{第十六號様式}ヲ添附シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ届

出ツヘシ

第三十八條 現ニ營業中ノ線路ニ於テ新設シタル停車場又ハ停留場ニ係ル旅客運賃又ハ荷物運賃ノ

認可ヲ受ケタル方法ト同一方法ニ依リ制定シタルトキハ實測換算中心秆程表、營業秆程表、各驛

間ノ旅客運賃表及大貨物營業秆程表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ鐵道大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ハ停車場又ハ停留場ノ實測換算中心秆程ニ異動ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ營業

秆程ニ變更ヲ生セサルトキハ營業秆程表、各驛間ノ旅客運賃表及大貨物營業秆程表ノ添附ヲ要セ

ス

前二項ノ規定ニ依ル届書ハ所管鐵道局長ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第三十九條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵

道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ノ認可

ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル料金ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ記載シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十條 旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ノ認可申請書ニハ發著時刻表第十七號樣式 運行圖表第八號樣式 及運轉速度表第十九號樣式ヲ添附シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第四十一條 旅客列車及混合列車ノ運轉速度ヲ増加シ又ハ度數ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ新舊對照運轉速度表、新舊對照運行圖表及變更發著時刻表ヲ添附シ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ旅客列車及混合列車ノ運轉度數ノ變更ニシテ運轉速度ノ増加ヲ伴ハサルモノハ所管鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 前二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉速度及度數ヲ實施シタルトキハ其ノ月日ヲ遲滯ナク前二條ノ區別ニ依リ鐵道大臣又ハ所管鐵道局長ニ届出ツヘシ但シ鐵道大臣ニ提出スヘキ圖書ハ所管鐵道局長ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

第四十二條ノ二 旅客列車及混合列車ノ發著時刻ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ運行圖表及發著時刻表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ記載シ遲滯ナク所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十三條 貨物列車ヲ運轉スルトキハ其ノ運轉速度、度數及發著時刻ヲ定メ發著時刻表、運轉圖

表及運轉速度表ヲ添附シ實施ノ月日ヲ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

貨物列車ノ運轉度數又ハ發著時刻ノ變更ニシテ運轉速度ノ増加ヲ伴ハサルモノハ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十四條 天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ一時旅客列車及混合列車ノ運轉速度及度數ヲ變更シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ發著時刻表ヲ添附シ遲滯ナク所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

第四十五條 營業休止ノ許可申請書ハ其ノ理由ヲ具シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ
營業廢止ノ許可申請書及會社解散ノ決議ノ認可申請書ニハ其ノ理由ヲ具シ株主總會又ハ社員總會ノ議事及決議ノ要領書、無限責任社員又ハ摠社員若ハ組合員ノ同意書ノ謄本ヲ添附シ地方長官ヲ經由シ之ヲ提出スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第四十六條 第三十條、第三十二條及前條ノ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ニハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

一 資本ノ總額

地方鐵道法施行規則

- 二 株式ノ總數
 - 三 株主ノ總數
 - 四 出席株主及委任株主ノ總數
 - 五 出席株主及委任株主ノ有スル株式ノ總數並ニ其ノ議決權ノ箇數
數種ノ株式ヲ發行シタル場合又ハ株式ノ總數カ議決權ノ箇數ト一致セサル場合ニ於テハ前項各號ノ事項ニ付其ノ内容ヲ附記スヘシ
前二項ノ規定ハ社員總會ニ之ヲ準用ス
- 第四十七條** 列車ノ衝突、脱線及顛覆、機關車ノ汽罐破裂、十二時間以上列車運轉不能其ノ他ノ重大ナル事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ鐵道大臣及所管鐵道局長ニ報告スルノ外五日以内ニ第二十號様式ニ依リ所管鐵道局長ヲ經由シ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ
前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第二十一號様式ニ依リ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ
- 第四十八條** 他ノ陸上運送業者ト連絡運輸又ハ直通運輸ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ記載シ契約書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間内ニ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ

- 一 連帶驛名
 - 二 旅客及荷物ノ取扱方法
 - 三 賃金制賦方法
 - 四 共用停車場、倉庫等ニ關スル使用料其ノ他ノ事項
 - 五 線路及車輛ノ使用料並遲滯料ニ關スル事項
 - 六 運輸上ノ責任負擔方法
 - 七 運輸開始ノ年月日
- 第四十八條ノ二** 他ノ陸上運送事業者ト運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲シタルトキハ協定書ノ謄本ヲ添附シ實施後一週間以内ニ所管鐵道局長ニ之ヲ届出ツヘシ
- 第四十九條** 地方鐵道業者ハ每營業年度經過後二月内ニ營業報告書及統計報告書ヲ調製シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ
- 第五十條** 地方鐵道業者ハ鐵道臺帳ヲ調製シ之ヲ備ヘ置クヘシ
- 第五十一條** 地方鐵道會社ハ商法ニ依ル登記ヲ爲シタルトキ又ハ定款ヲ變更シタルトキハ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第五十二條 免許失効シタルトキハ遲滞ナク地方長官ヲ經由シ免許狀ヲ返納スヘシ

第五十三條 地方鐵道法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル建設費ハ鐵道及其ノ附屬物件ヲ建設又ハ取得スル爲必要ナル實費決算額トス

一部買收ノ場合ニ於テハ買收及殘存區間ノ建設費ハ各區間ニ付之ヲ計算シ各區間ニ關聯スル建設費ハ左ノ各號ニ依リ各區間ニ付之ヲ分割ス

一 線路測量費ハ各區間ノ料數ニ依ル百分率
二 車輛費、電車庫費、器械場費、發電所費及變電所費ハ各區間ノ最近營業年度末ヨリ遡リ三年間、運輸開始後三年ヲ經過セサルモノニ在リテハ運輸開始ノ日ヨリ買收ノ日迄ニ於ケル車輛走行料ニ依ル百分率
三 前二號以外ノモノニ付テハ各區間ニ於ケル建設費決算額（前二號ニ依リテ分割シタル金額ヲ

含ム）ノ割合ニ依ル百分率

第五十四條 地方鐵道法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル營業收入ハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上ノ諸收入トシ營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上ノ諸費用トス

一部買收ノ場合ニ於テハ買收及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ計算シ各區間ニ誇ル營業收入及營業費ハ左ノ各號ニ依リ營業年度毎ニ各區間ニ付之ヲ分割ス

一 客車收入ハ買收及殘存區間ニ誇ル旅客ノ各區間ニ於ケル延人料數ニ依ル百分率
二 貨車收入ハ買收及殘存區間ニ誇ル貨物ノ各區間ニ於ケル延噸料數ニ依ル百分率
三 前二號ニ掲クルモノ以外ノ收入ハ買收及殘存各區間ニ於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率
四 營業費ハ買收及殘存各區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第五十五條 地方鐵道會計規程第十條乃至第十二條ノ規定ハ前二條ノ規定ニ依ル建設費、營業收入及營業費ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第五十六條 地方鐵道法第三十五條ノ二第二項及第三十六條ノ二第三項ノ規定ニ依ル配當ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ當該期ノ貸借對照表及收支計算書ヲ添付シ之ヲ提出スヘシ

一 概算交付金ノ處分案
二 債務アルトキハ其ノ金額、償還方法及期日並次ノ配當期迄ニ支拂フヘキ利子金額

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

私設鐵道法施行規則、輕便鐵道法施行規則、鐵道事故届出ニ關スル規程、鐵道臺帳規程及鐵道統計規程ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則 (昭和四年十二月鐵道省令第三號)

本令ハ昭和四年法律第六十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和四年十二月五日ヨリ施行)

大正九年鐵道省令第二號ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和五年六月鐵道省令第八號)

本令ハ昭和五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前監督官廳又ハ地方廳ニ於テ受付ケタル書類及圖面ニ付テハ從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

附則 (昭和十四年八月鐵道省令第五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十七條乃至第二十九條ヲ削除スル規定ハ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條及第二十八條ヲ削除スル規定ノ施行前ニ於テハ同條ノ規定ニ依ル認可申請書ハ鐵道大臣

ニ之ヲ提出スヘシ

(様式)

本令施行前鐵道大臣ニ於テ受付ケタル申請書及届書ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第一號様式 間建設費概算書				第二號様式 營業收支概算書			
鐵道				鐵道			
延長 米				軌間 米 動力			
延長 米				區間 延長 米			
項	數量	單價	金額	摘要	金額	摘要	摘要
及費	米	円	円	旅客人米	米	米	米
監督地	アール			一 米 當			
工費	立米			一日一 米 當			
橋梁	延長米			貨物 米			
道費	米			一 米 當			
軌道	米			一日一 米 當			
停車場	箇所			旅客收入			
車輛	輛			一 米 當			
諸建物	米			一日一 米 當			
通信線	米			貨物收入			
路費	米			一 米 當			
電力線	米			一日一 米 當			
路費	米			雜收入			
發電所	キロワット			收入合計			
變電所	米			一日一 米 當			
.....				營業費			
.....				一日一 米 當			
總係費	米			益金			
線備費	米			建設費			
.....				建設費ニ對スル			
合 計	米			益金割合			

第三號樣式

運送數量表

旅客
鐵道

貨物

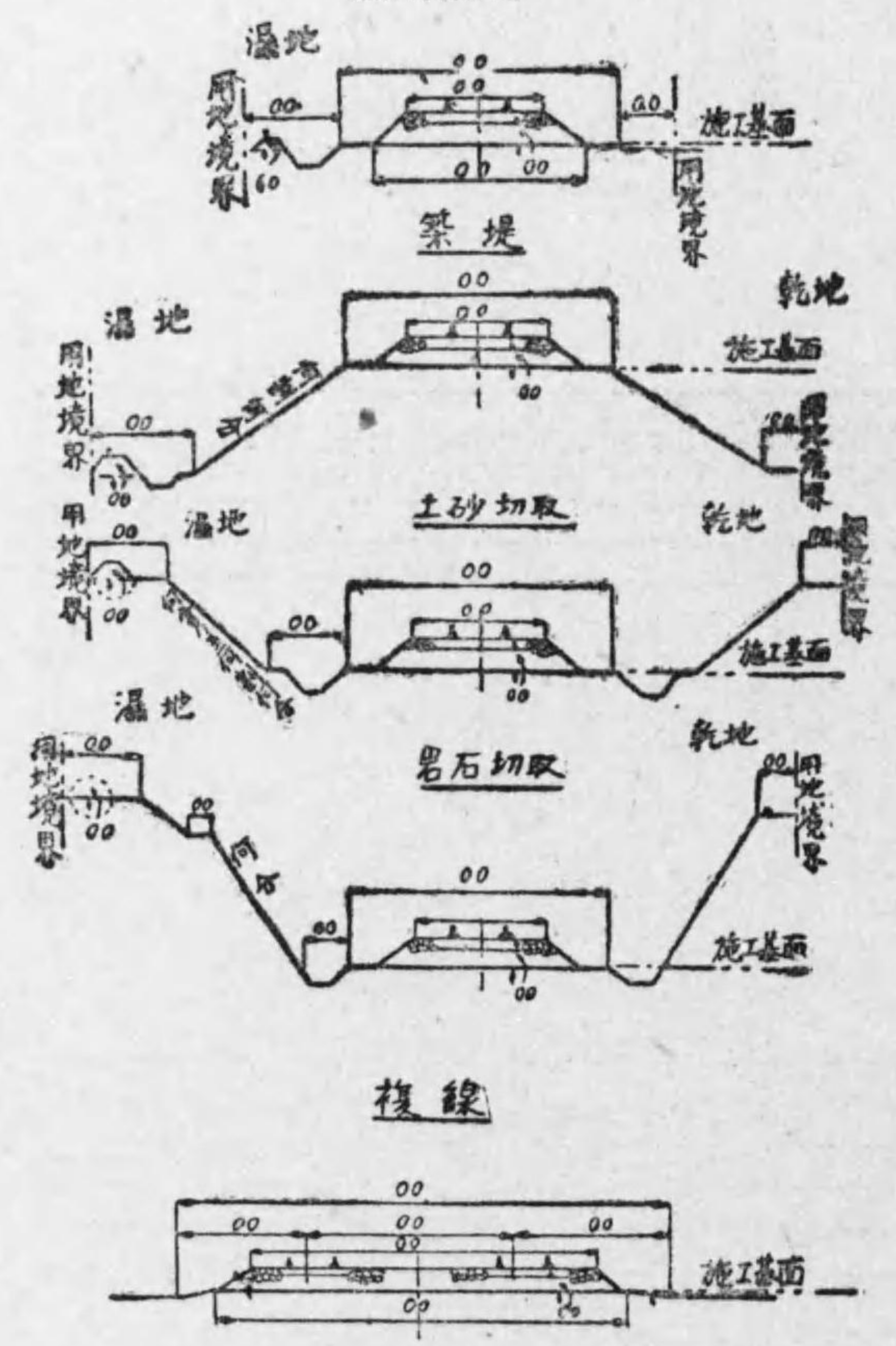
區間	旅客			貨物				
	人員	人員	人員	種類	區間	噸數	噸數	噸數

備考
 1 上り下りニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ
 2 特殊旅客アルトキハ摘要欄ニ説明スヘシ
 備考
 1 種類欄ニハ主要貨物ハ品名別ニ其ノ他ハ種類記載リヌヘシ
 2 上り下りニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ
 3 特殊貨物アルトキハ摘要欄ニ説明スヘシ

第四號樣式

地方鐵道法施行規則

土工定規
縮尺何分之一



備考 寸法ハ耗ヲ以テ記載スヘシ

第六號様式

間建設費豫算書

延長 料

鐵道

地方鐵道法施行規則

項	目	數量	平均價	金高	合計
			円	円	円
測量及監督費用	用地費	料			
	線路用地	アール			
	停車場用地	〃			
	川道用地	〃			
土工費	發電所用地	〃			
	變電所	〃			
	諸手當費	〃			
	雜費	〃			
橋梁費	線路切取	立米			
	路場築堤	〃			
	停車場地換	〃			
	川道付換	〃			
溝橋費	踏切	平米			
	土留石垣	〃			
	何川橋梁	延長米			
	何川拱橋	〃			
伏隧費	何川外何箇所	〃			
	開暗渠	箇			
	何何	所			
	何何	〃			
軌道費	何何	延長米			
	何何	〃			
	何何	〃			
	何何	〃			
軌道費	軌條及附屬品	料			
	轉轍器及轍叉	〃			
	枕木	〃			
	砂敷	〃			
軌道費	枕木	立			
	砂敷	〃			
	敷設	〃			
	雜費	〃			

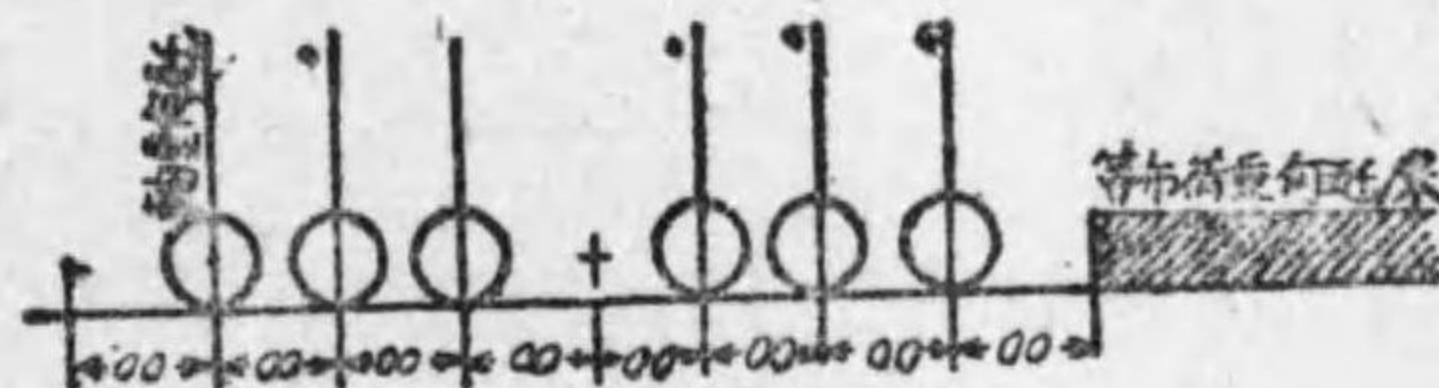
備考 建設資金ノ出資方法ヲ記載スヘシ

第五號様式

所定動荷重

鐵道

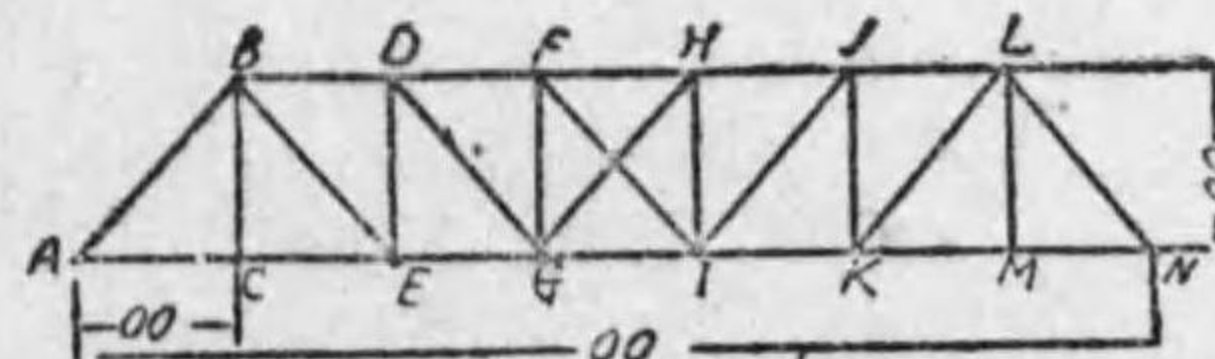
地方鐵道法施行規則



應力表 (甲表)

時間	最大彎曲力率				桁断面	作用應力
	動荷重	擊衝	靜荷重	合計		
分	秒	種	種	種	種	種/種

應力表 (乙表)



部材	最大應力				桁断面積	作用應力
	動荷重	擊衝	靜荷重	合計		
	種	種	種	種	平方種	種/種

備考 橋桁ノ縦桁及横桁ノ應力表ハ甲表ニ依リ作製スヘシ
寸法ハ米ヲ以テ記載スヘシ

第九號様式ノ一

主要材料表 (機關車)

鐵道

地方鐵道法施行規則

名	稱	材質	摘要	名	稱	材質	摘要
汽	罐			機	械		
罐	胴			唧	子		
内外火室各	飯			唧	子		
前後焔管	飯			クロス	ヘッド		
スチーム	ドーム			同上	ガジヨン	ピン	
焔	管			ス	ライド	バー	
各種	繫			聯	結	桿	
罐	胴			併	行	桿	
罐	胴			ヅ	アル	ヅギ	ヤ
	手			ホ	キール	センター	
	目			輪		鐵	
				車		軸	
				ク	ランク	ピン	
				擔	彈	機	
				臺		框	
				緩	衝	梁	
				ゾ	レー	キギ	ヤ
				牽	引	鉤	及
				牽	引	彈	機
				聯	結	機	
				同	上	ビ	ン
				緩	衝	器	頭
				緩	衝	器	筐
				緩	衝	器	彈
				緩	衝	器	機

第八號様式

間工程表

鐵道

延長 秆 年 月 日現在

地方鐵道法施行規則

	總 量	前期末成 工 步 合	現在成工 步 合	摘 要
用 地	アール			
土 工	立米			
橋 梁	延長米			
隧 道	〃			
軌 道	秆			
停 車 場	箇所			
電力線路	秆			
發 電 所	箇所			
變 電 所	〃			

備考

- 1 總量欄 = ハ記載ノ單位稱呼 = 依リ實數量ヲ記載スヘシ
- 2 前期末及現在成工歩合ノ欄 = ハ執レモ總量欄ノ數量 = 對スル六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スヘシ
- 3 摘要欄 = ハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動シタルトキ又ハ工程進捗セサルトキハ其ノ理由其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ摘記スヘシ
- 4 工事一部竣功開業シタル後 = 於テハ殘部未開業區間 = 對スルモノノミヲ記載スヘシ

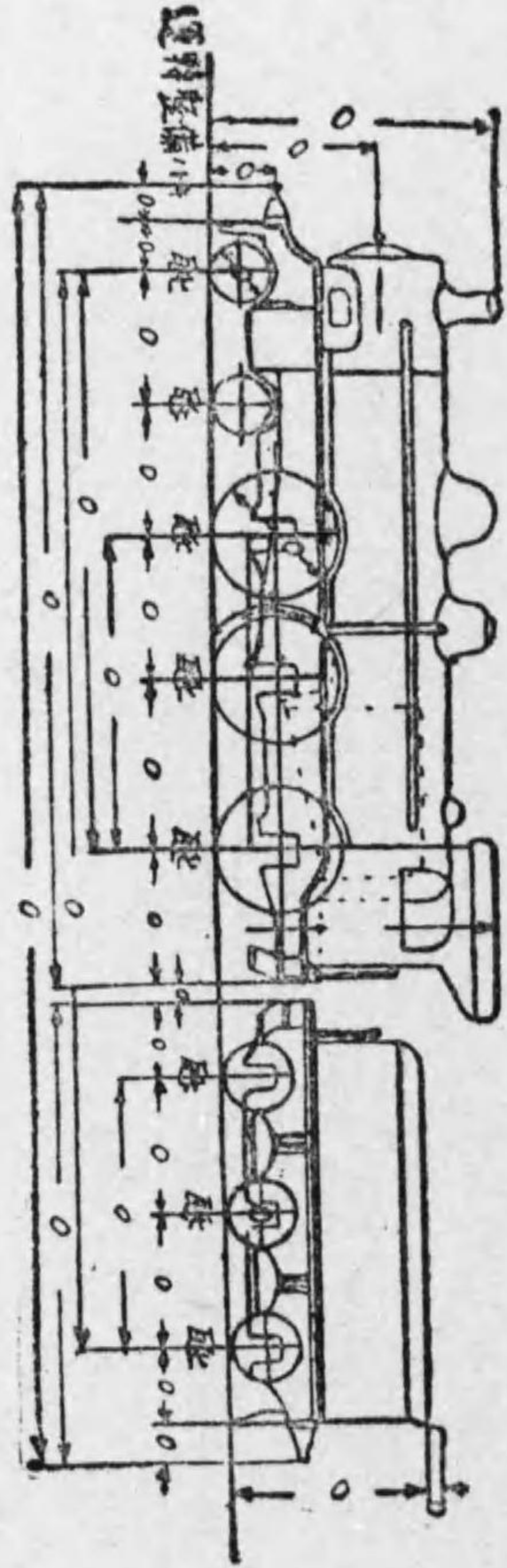
鐵道

主要材料表 (客貨車)

車種 名稱	鐵道			
	客車	緩急車	貨車	摘要
緩衝梁 ソールバー				
横根太、縱根太、 筋違根太				
長土臺 長桁類				
柱				
ホキ一ル ンター				
輪車鐵軸 擔機				
ブレーキギヤ				
牽引鉤及桿				
牽引彈機				
聯結機				
同上ピン頭				
緩衝器				
緩衝器彈				

第九號樣式ノ二

第十號樣式ノ一



車輛竣工圖表

鐵道

汽笛徑及衝程	噸/平方
實用最高氣壓	平方
火床面積	平方
傳熱面積	平方
煙管室	平方
過熱面積	平方
運轉整備ノトキ機關車重量	噸
運轉整備ノトキ炭水車重量	噸
運轉整備ノトキ側輪上ノ重量	噸
空車ノトキ機關車重量	噸
空車ノトキ炭水車重量	噸
水槽容積	立方
燃料櫃ノ容積	立方
最大寸法 (長×幅×高)	(長×幅×高)
煙管 (徑×長×數)	(徑×長×數)
過熱大煙管 (徑×長×數)	(徑×長×數)

車	軸 (徑×長)	ジョーナル	ホキールノイット
導輪軸	"	"	"
輪軸	"	"	"
從輪軸	"	"	"
炭水車軸	"	"	"

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

- 備考 1 用紙ノ幅二百十五耗長三百四十耗トス、縮尺ハ百分ノ一トスヘシ
- 2 寸法ノ單位ハ耗トシ小數點以下切捨ツヘシ
- 3 寸法以下ノモノハ小數三位ニテ四捨五入シ二位ヲ存スヘシ

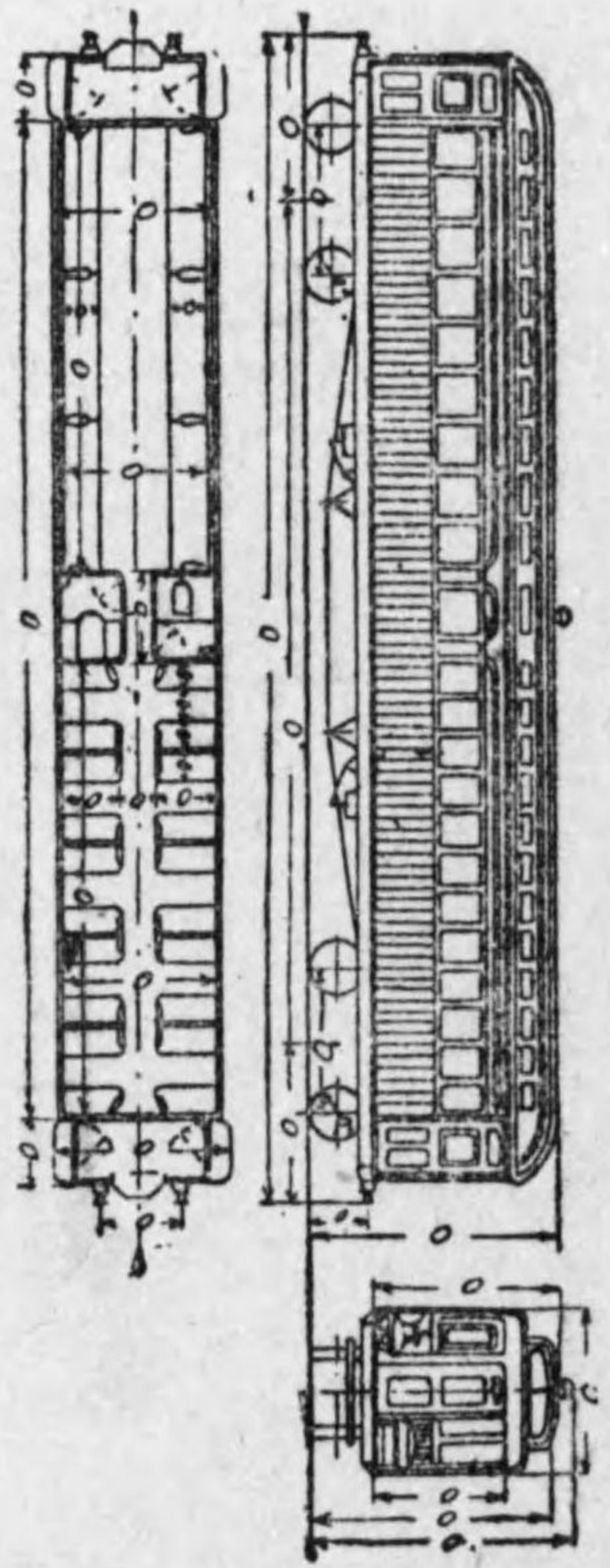
第十號樣式ノ三

車輛竣工圖表

形式稱號

等客車

鐵



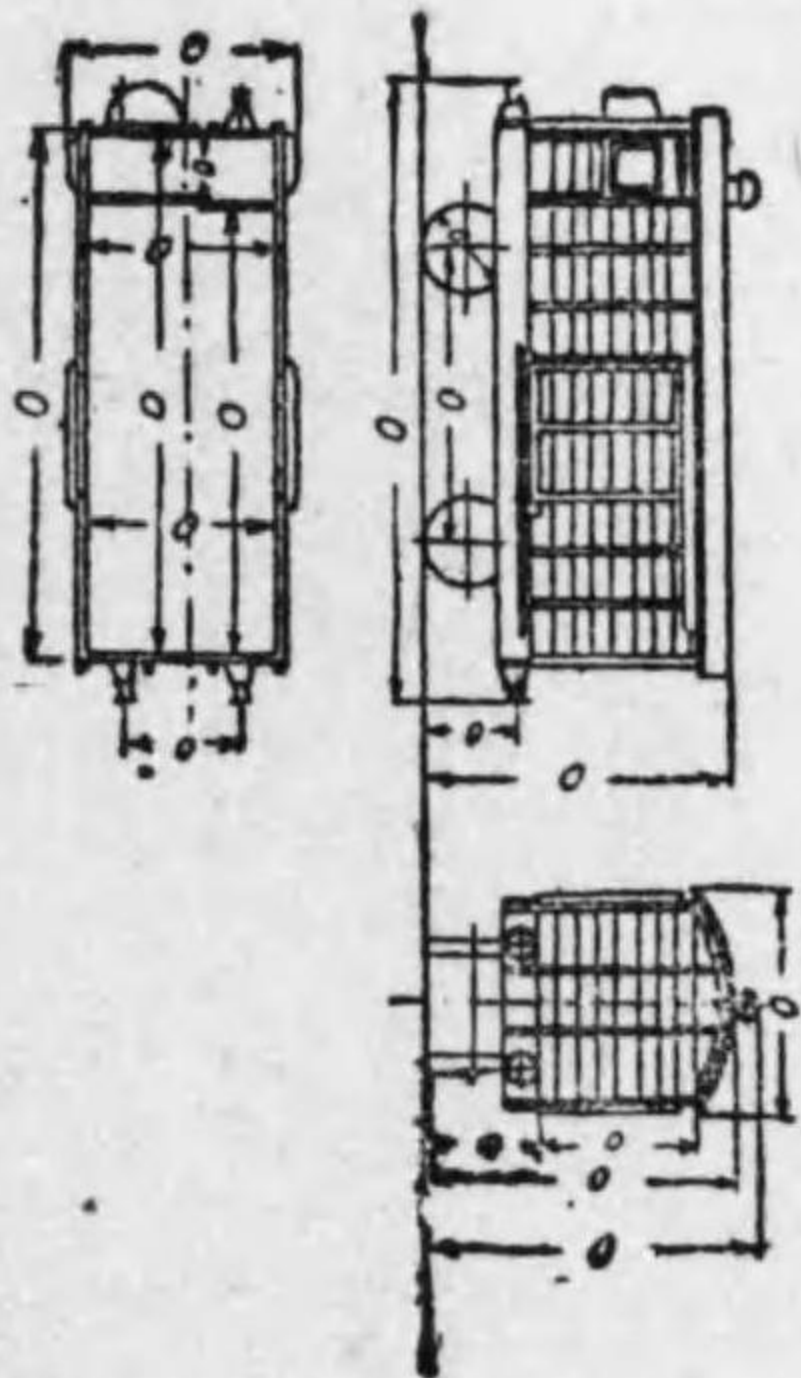
定員 (等) (等) (等)
 面積 (內座席) (等) (等)
 最大寸法 (長×幅×高)
 自重 (空滿) 車
 緩衝器ノ種類
 制動機ノ種類
 聯結器ノ種類
 機關車ノ備考ニ同シ

燈ノ種類及管數	軸 (徑×長)	ジョーナル	ホキールノイット
製造所名	製造年月	代價	前所有者名

第十號樣式ノ三

車輛竣工圖表

形式稱號
有蓋貨物緩急車
記號番號



鐵道

荷役自載容量
最大寸法(長×幅×高)
緩衝器ノ高ノ空滿種類
制動機ノ種類
備考 機關車ノ備考=同シ

噸立方米

連結器ノ種類
車軸(徑×長)

ジョーナル ホキールフイツト

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

鐵道

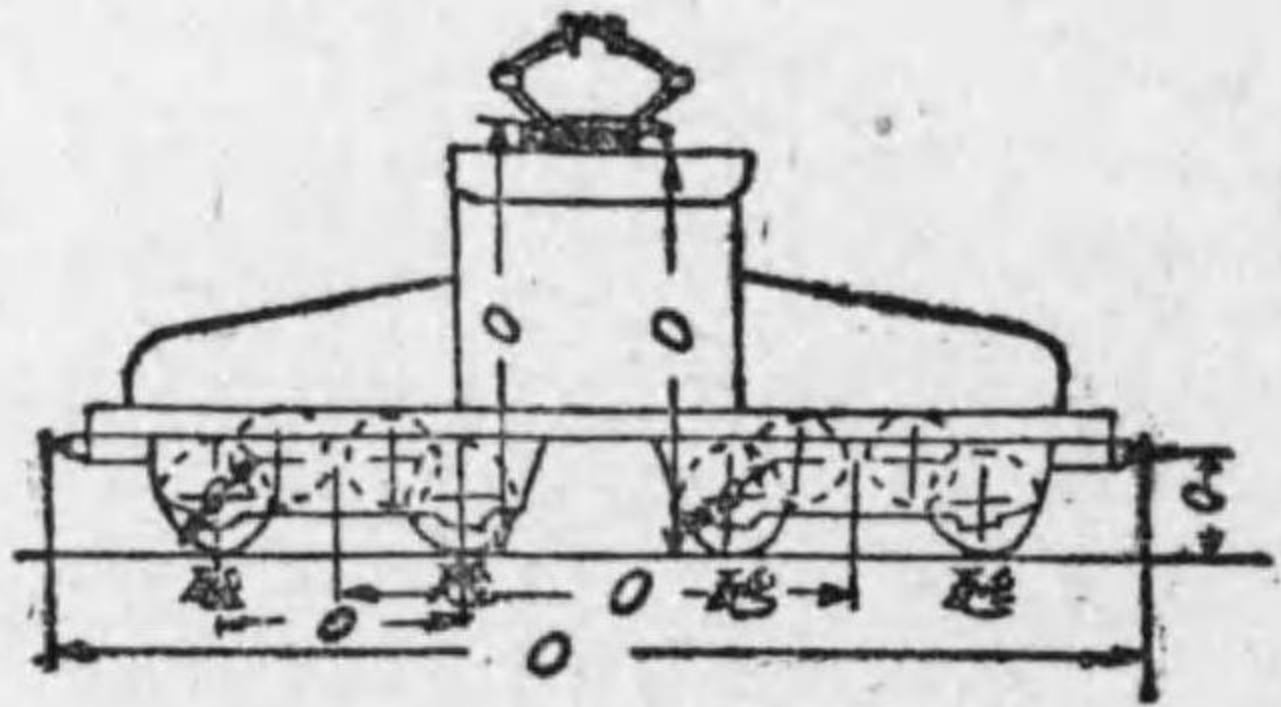
車輛竣工圖表

第十號樣式ノ四

形式稱號

電氣機關車
番號

地方鐵道法施行規則



電動機 { 種類
出力 キロワット
電壓
筒數

齒車ノ比

制動機ノ種類
連結機ノ種類
自重
最大寸法(長×幅×高)

電動機 (壓搾空氣制動機用) { 種類
出力 キロワット
電壓
筒數

制動機ノ種類 { 種類
筒數

車軸(徑×長) ジョーナル ホキールフイツト
軸輪軸 " "

全負荷ノトキ=於ケル { 牽引力 噸
速度 浬/時

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

備考 機關車ノ備考=同シ

電氣工事竣功表(火力發電所)

發電所 鐵道

地方鐵道法施行規則

機 械 器 具 其 ノ 他		數 量 其 ノ 他		備 考	
出力	最平最大出力ノ連續時間	出力ノ種類	出力ノ數量	キロワット	時
原 動 機	汽 機	種類	數量	坪/平方	米
	汽 機	種類	數量	坪/平方	米
附 屬 器 械	給水設備	種類	數量	立/分	基
	凝汽器	種類	數量	平方	米
	汽水	種類	數量	基	
	節炭	種類	數量	基	
	通風	種類	數量	基	
煙突	口高	種類	數量	米	
發 電 機	交流ノ波線磁	種類	數量	キロワット	ヴォルト
	製造者ノ原動機トノ接続方法	種類	數量	サイクル	基
勵 磁 機	容量	種類	數量	キロワット	ヴォルト
	製造者ノ原動機トノ容量	種類	數量	基	
配盤	材枚	種類	數量	キロワット	

2. 本表ハ發電所毎ニ作製スヘシ
1. 鐵道ト電氣供給業トニ共用スル機械ニ在リテハ其ノ出力ヲ區別シ摘要欄ニ記載スヘシ
3. 電氣供給業専用ノ機械類アルトキハ其數量ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
4. 原動機及發電機ノ種類容量ヲ異ニスルトキハ別欄ニ之ヲ記載スヘシ
5. 電動發電機變壓器等ノ設備アルトキハ第十一號様式ノ三ニ依リ作製スヘシ
6. 本表ニハ發電所ノ建物及機械器具ノ配置ヲ明示スル平面圖或電線接續圖ヲ添付スヘシ
7. 瓦斯ヲ原動力トスル發電所ニ在リテハ本様式ニ準シ作製スヘシ

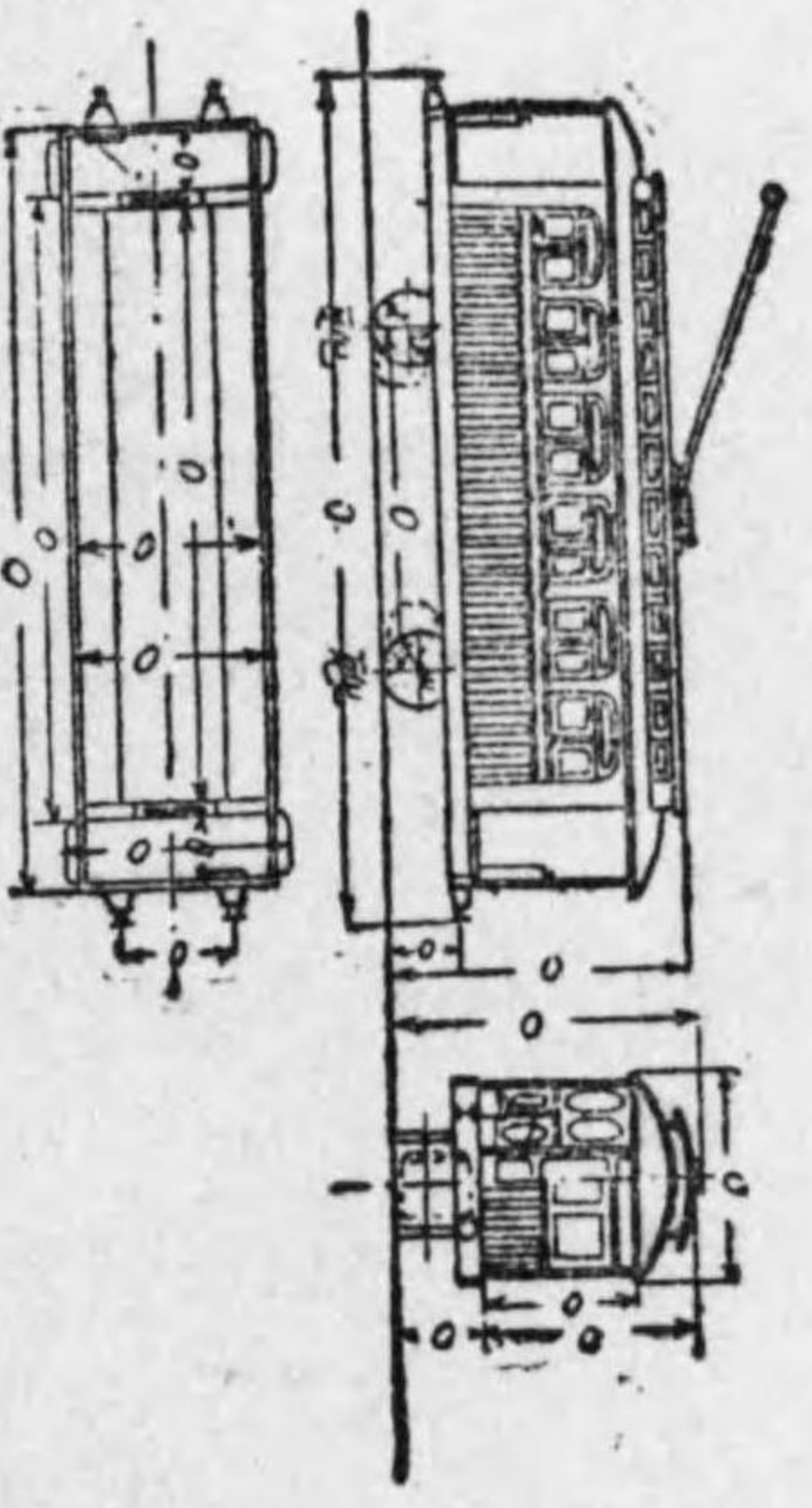
地方鐵道法施行規則

第十號様式ノ五

形式稱號

車輛竣功圖表

等電車 記號番號



鐵道

定員(等) (內座席) (等) 積(長×幅×高) 自重(長×幅×高) 緩衝器ノ重(空) 車載重

人々ノ平方米

種類ノ種類 制動機ノ種類 制動機ノ種類 車軸ノ種類 (徑×長) ジョーナルホキール フライツ

トラツクノ種類 種類ノ種類 出力ノ種類 電機ノ種類 比 齒車ノ種類 制動機ノ種類 齒車ノ種類 牽引速度

馬力/時

備考 機關車ノ備考ニ同シ

製造所名	製造年月代	價	前所有者名	番號	記	事
------	-------	---	-------	----	---	---

雷氣工事竣功表 (發電所)

地方鐵道法施行規則

		變電所		鐵道	
機 械 器 具 其 ノ 他		數 量 其 ノ 他		摘 要	
出力	最 大 出 力 平 均 出 力 最 大 出 力 ノ 繼 續 時 間	キ ロ ワ ッ ト 〃 時			
電 動 發 電 機	電 動 機	種 容 電 筒	類 量 壓 數	キ ロ ワ ッ ト ヴ オ ル ト 基	
	發 電 機	種 容 電 筒 回 轉 製 造 者	類 量 壓 數 數 名	常 用	豫 備
	勵 磁 機	容 電 筒	量 壓 數	キ ロ ワ ッ ト ヴ オ ル ト 基	
變 壓 器	容 一 次 電 波 線 却 二 相 周 結 冷 筒 製 造 者	量 壓 數 法 法 數 名	キ ロ ヴ オ ル ト ア ン ペ ー ア ヴ オ ル ト 〃 サイ ク ル		常 用 豫 備 基
蓄 電 池	種 放 電 時 容 放 筒 製 造 者	類 間 量 數 名	ア ン ペ ー ア 時		
配 盤 電	材 枚	質 數			

六七

- 備 考
- 第十一號様式ノ一備考第一號乃至第三號及第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス。
 - 回轉變流機ノ設備アルトキハ之ヲ交流直流ニ區別シ周波數變換機ノ設備アルトキハ之ヲ電動機發電機ニ區別シ昇壓機ノ設備アルトキハ之ヲ發電機電動機勵磁機ニ區別シ電動機發電機ノ欄ニ準シ記載スヘシ
 - 蓄電所ニ在リテハ本様式ニ準シ作製スヘシ

雷氣工事竣功表 (水力發電所)

地方鐵道法施行規則

		發電所		鐵道	
機 械 器 具 其 ノ 他		數 量 其 ノ 他		摘 要	
出力	最 大 出 力 平 均 出 力 最 大 出 力 ノ 繼 續 時 間	キ ロ ワ ッ ト 〃 時			
使用	河 川 名 又 ハ 湖 沼 名				
流量	湯 水 量 實 際 使 用 セ ム ト ス ル 水 量	立 方 米 / 秒 〃			
落差	取 入 口 及 放 水 路 間 高 低 ノ 差 差 數 有 理 論 キ ロ ワ ッ ト	米 〃 キ ロ ワ ッ ト			
水路	互 長 量	米			
貯水池	容 量	立 方 米			
水 車	種 容 回 轉 製 調 速 機 ノ 種 類	類 量 壓 數 數 名 類	キ ロ ワ ッ ト 回 / 分 基		
發 電 機	種 直 流 交 流 ノ 波 線 磁 容 電 筒 相 周 結 勵 磁 筒 製 原 動 機 ト ノ 接 續 方 法	類 別 量 壓 數 法 法 數 名 法	キ ロ ワ ッ ト ヴ オ ル ト サイ ク ル 常 用 豫 備 基		
勵 磁 機	容 電 筒 製 原 動 機 ト ノ 接 續 方 法	量 壓 數 數 名 法 類 量	キ ロ ワ ッ ト ヴ オ ル ト 基		
配 盤 電	材 枚	質 數	キ ロ ワ ッ ト		

六六

- 備 考
- 第十一號様式ノ一備考第一號乃至第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス

第十一號様式ノ五

電氣工事竣功表(饋電線路及電車線路)

地方鐵道法施行規則

線路名		構造其ノ他		數量其ノ他		摘要	
饋電線路	電氣方式	直流交流ノ別	式	電壓	ヴォルト		
	架空饋電線路	種太線	條	類サ數長	條	料	米
	電柱	平均柱間距	離	質			
地中饋電線路	心線	種太	サ及	類數			
	電纜	線	渠線渠及直接埋	類數長埋別			
電車線路	電氣方式	直流交流ノ別	式	電壓	ヴォルト		
	架空電車線路	種形太	延線軌	間	距	離	質
	電柱	平均柱間距	離	質			
線路	軌條	種太	條	類サ數長	條	料	
	補助線	種太	條	類サ數長	條	料	
	軌條	種太	條	類サ數長	條	料	
路	軌條	種太	條	類サ數長	條	料	
	補助線	種太	條	類サ數長	條	料	
	軌條	種太	條	類サ數長	條	料	

六九

- 備考
1. 本表ハ電氣方式又ハ電氣饋道方式ノ異ナル毎ニ作製スヘシ
 2. 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
 3. 鐘線吊線式ニ在リテハカテナリー線ノ種類、形狀、太サ等ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
 4. 本表ニハ電線路構造圖及饋電線路毎ニ架ノ杆程、線條數、太サ並電車線ノ區劃及饋電線トノ接續箇所ヲ明示スル饋電關係一覽圖ヲ添付スヘシ

第十一號様式ノ四

電氣工事竣功表(送電線路)

地方鐵道法施行規則

線路名		構造其ノ他		數量其ノ他		摘要	
送電線路	電氣方式	直流交流ノ別	式	電壓	ヴォルト		
	電線	種太	條	類サ數長	條	料	米
	電柱	平均柱間距	離	質			
地中電線路	心線	種太	サ及	類數			
	電纜	線	渠線渠及直接埋	類數長埋別			

六八

- 備考
1. 本表ハ電氣方式ノ異ル毎ニ作製スヘシ
 2. 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
 3. 本表ニハ送電關係一覽圖送電線路構造圖及發電所變電所等ノ位置電線路ノ中心及經過地名ヲ明示スル縮尺約二千分ノ一ノ送電線路平面圖ヲ添付スヘシ

第十二號様式

對 料 運 賃 表

鐵道

營業料程	運 賃		
	三 等	二 等	一 等
0—0.4	1 錢	2 錢	3 錢
0.5—0.8	2	4	6
0.9—1.2	3	6	9
1.3—1.6	4	7	11

運賃計算ノ方法

三等運賃ハ營業料程 = 錢 厘ヲ乘ス

二等運賃ハ三等運賃ノ 割増

一等運賃ハ三等運賃ノ 割増

計算上生シタル厘位ハ之ヲ { 錢位 = 切上ク
切捨ツ
四捨五入ス

第十三號様式

實測換算中心料程表

鐵道

驛	名	料 程	摘	要
		0.320		
		0.511		
		1.239		

備 考

1. 料程ハ小數點以下第三位ニ止メ第四位ハ之ヲ四捨五入ヲ爲シ計上スヘシ
2. 驛名ニハ振假名ヲ附シ摘要欄ニ所在地(府縣郡市町村大字名)ヲ記載スヘシ

第十九號樣式

運轉速度表

鐵道

標準勾配	區間 距離 程	驛 名	急行旅客列車		旅客列車		混合列車		貨物列車		平均 速度
			運轉 時分	平均 速度	運轉 時分	平均 速度	運轉 時分	平均 速度	運轉 時分	平均 速度	
	0.9		4	13.5							
	1.7		6	17.0							
	2.5		9	16.7							
	1.5		5	18.0							
	2.1		7	18.0							
	2.4		8	18.0							
11.1	全	線	(3) 43	15.5							

備考

1. 上リ列車及下リ列車ノ運轉速度異ルモノハ各別ニ記載スヘシ
2. 同一種類ノ列車ニシテ同一區間ノ運轉時分異ルトキハ最少時分ニ依リ作製スヘシ
3. 全線ノ運轉時分及平均速度ハ各種別ノ列車中最少時分ヲ以テ運轉スルモノヲ記載シ其ノ列車番號ヲ示スヘシ
4. 新舊對照運轉速度表ハ本表ニ準シ作製シ舊ハ黑書、新ハ朱書スヘシ

第二十號樣式(美濃列形)

年 月 日

鐵道省監督局長宛
事故届

鐵道代表者

事故ノ種類	發生日時分	場所	當該列車車輛	又該車輛	現場ノ狀況及當時ノ處置	損害ノ程度	進行停止時間	當務者 顯末處

備考

1. 事故ノ種類ハ左ノ如ク區別シ之ヲ記載スヘシ
 列車ノ衝突 衝突シタル列車又ハ車輛ノ種類及衝突ノ種別ヲ記載スヘシ
 列車ノ接觸 同上

地方鐵道法施行規則

ハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本規程ニ依ラサルコトヲ得鐵道大臣ハ鐵道ノ狀況ニ依リ本規程ニ依ラサル特別ノ設計ヲ命スルコトヲ得

第二條 列車ノ運轉ニ常用スル線路ヲ本線路ト謂ヒ其ノ他ノ線路ヲ側線ト謂フ

第三條 旅客又ハ荷物ヲ取扱フ爲メ列車ヲ停止スル箇所ニシテ轉轍器ノ設備アルモノヲ停車場ト謂ヒ其ノ設備ナキモノヲ停留場ト謂フ

第二章 線路及建造物

第一節 軌間及軌條ノ高度

第四條 軌間ハ直線ニ於テ軌條頭ノ内側ヨリ内側迄ノ距離ニ依リ之ヲ測定ス

第五條 曲線ニ在リテハ左ノ區別ニ依リ軌間ニ相當ノ擴度ヲ附スヘシ但シ轉轍器ニ附帶スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 軌間一米〇六七及一米四三五ニシテ曲線ノ半徑六百以下ノモノニ在リテハ二十五耗以内

二 軌間七百六十二耗ニシテ曲線ノ半徑四百以下ノモノニ在リテハ十六耗以内

第六條 直線ニ在リテハ兩軌條面ノ高ヲ均クスルコトヲ要ス但シ曲線ニ於ケル高度ヲ遞減スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

曲線ニ在リテハ轉轍器ニ附帶スル場合ヲ除クノ外外側軌條ニ相當ノ高度ヲ附シ曲線ニ接續スル直線又ハ緩和曲線ニ於テ之ヲ遞減スヘシ

第二節 建築定規

第七條 建築定規ハ第一號及第二號圖面ニ依ルヘシ但シ曲線ニ在リテハ軌間ノ擴度及外側軌條ノ高度ニ隨ヒ建築定規中心ノ偏倚傾斜ニ應シ相當之ヲ擴大スヘシ

第八條 燃料搭載所、給水所、轉車臺、計重臺、洗車所、電柱、信號柱等ニシテ停車場内ノ側線ニ係ルモノ並車庫ノ門路及内部ハ車輛定規外百五十耗迄建築定規内ニ入ルコトヲ得

電氣鐵道ノ第三軌條ハ建築定規内ニ入ルコトヲ得

第九條 轍又ニ於テ軌條ト翼軌條又ハ護輪軌條トノ間隔ハ左ノ寸法迄之ヲ縮小スルコトヲ得

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ 三十八耗

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ 三十三耗

前項以外ノ場合ニ於テハ軌條ト護輪軌條トノ間隔ハ左ノ寸法迄之ヲ縮小スルコトヲ得

一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ 五十四耗

二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ 四十五耗

第十條 轉轍器取柄及轉轍標識等ノ軌條面上ニ突出スル各部分ハ車輛定規外側方ニ於テ七十六耗迄建築定規内ニ入ルコトヲ得但シ軌條面上左ノ高ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ 千八百三十耗
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ 千五百二十耗

第十一條 乗降場及貨物積卸場ノ擁壁面ノ突出點ト軌道中心トノ距離ハ左ノ寸法迄之ヲ縮小スルコトヲ得

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ 一米三七二
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ 一米一一八

第十二條 並行セル兩軌道中心間ノ距離ハ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ三米三五以上、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ二米七四以上トス

第三節 曲線及勾配

第十三條 本線路ノ曲線半徑ハ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ百六十米以上、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ百米以上トス

本線路ニ於ケル轉轍器ニ附帶スル曲線半徑ハ特別ノ場合ヲ除クノ外軌間一米〇六七及一米四三五

ノモノニ在リテハ百米以上、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ四十米以上トス

第十四條 本線路ニ於ケル反向ノ曲線間ニハ相當ノ長ヲ有スル直線ヲ挿入スヘシ

第十五條 本線路ノ勾配ハ千分ノ三十三ヨリ急ナルコトヲ得ス

停車場及停留場ニ於ケル本線路ノ勾配ハ千分ノ五ヨリ急ナルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ千分ノ十二至ルコトヲ得

第四節 施工基面

第十六條 軌道中心ヨリ施工基面迄ノ距離ハ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ一米八三以上、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ一米五二以上トス

第五節 軌道及橋梁

第十七條 枕木下面ヨリ施工基面迄ノ道床ノ厚ハ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ百耗以上、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ七十六耗以上トス

第十八條 軌道及橋梁ノ各部ハ動荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

第十九條 交通頻繁ナル道路又ハ通船頻繁ナル河川ニ架設スル橋梁ハ車輛ノ幅及其ノ兩側各百五十耗以上軌道面下ヲ蓋フコトヲ要ス

第六節 待避所

第二十條 隧道、橋梁其ノ他列車ヲ避クルニ困難ナル場所ニハ九十米以内ノ距離ニ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

第七節 踏切道

第二十一條 踏切道ト線路トノ交角ハ三十度ヨリ小ナルコトヲ得ス
交通頻繁ナル踏切道ニハ通行行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設クルコトヲ要ス
交通頻繁ニシテ展望不良ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第八節 常置信號機

第二十二條 停車場外ニ於テ線路カ本線路ヨリ分岐スル箇所ニハ左ニ掲クル場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設ケ之ニ關聯スル轉轍器ト相互聯動セシムルコトヲ要ス
一 保安區間内ニ在ル分岐點ノ轉轍器ニシテ之ニ通票鎖錠器ヲ裝置シタルトキ
二 閉塞式ヲ施行スル單線ニ於ケル分岐點ノ轉轍器ニシテ之ニ轉轍標識ヲ設ケ轉轍器ヲ鎖錠シタルトキ
停車場又ハ信號所ニ於ケル本線路ノ對向轉轍器ニハ鎖錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲スコトヲ要ス但シ

列車對向通過ノ際轉轍器ノ取柄ヲ支持スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 左ノ箇所ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞信號機ヲ

設クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 單線ニ於テ列車ノ行違ヲ爲ス停車場又ハ信號所
 - 一 複線ニ於ケル閉塞區間ノ境界點ニ在ル停車場停留場又ハ信號所
- 第二十四條 場内信號機防護區域外四百米以上ノ距離ヨリ之ヲ展望スルコト能ハサルトキハ其ノ前方ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第九節 平面交叉

第二十五條 本線路ハ相當ノ保安設備アル停車場又ハ信號所外ニ於テ鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ス但シ鐵道又ハ軌道カ人力又ハ馬力ヲ動力トスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十節 諸標

- 第二十六條 本線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス
- 一 每杆ノ距離ヲ示ス杆程標
 - 二 千分ノ十七ヨリ急ナル勾配ノ始終點ニハ其ノ勾配ヲ示ス勾配標

第二十七條 本線路又ハ側線カ本線路ニ接續スル箇所ニハ車輛ノ停止區域ヲ示ス警標ヲ設クルコトヲ要ス

第十一節 車輛ノ逸出防備

第二十八條 車輛カ本線路ニ逸出スル處アル線路ニハ相當ノ防止設備ヲ爲スヘシ

第二十九條 線路ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第十二節 線路ノ防備

第三十條 人又ハ牛馬等ノ線路ニ踏入ル處アル場所及保安上必要ナル場所ニハ堤塘、柵垣又ハ溝渠ヲ設クルコトヲ要ス

第十三節 停車場其ノ他ノ設備

第三十一條 停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スヘシ但シ驛員ヲ常置セサル停車場ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 旅客ノ乗降多キ停車場ニハ待合所其ノ他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十三條 機關車ヲ收容スル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十四條 車輛ヲ修理スル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ但シ其ノ修理ヲ他ニ委託スルコトヲ得ル場合

ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 發電所及變電所ニハ相當ノ豫備機械ヲ備フルコトヲ要ス

第三章 車輛

第一節 車輛定規

第三十六條 車輛定規ハ車輪ヲ除クノ外第三號及第四號圖面ニ依ルヘシ

第三十七條 外方ニ開キタル車輛ノ扉ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得但シ建築定規ノ範圍内ニ於テ七十五耗以上ノ遊間ヲ存スルコトヲ要ス

第三十八條 排障器、制輪子、撒砂管其ノ他ノモノニシテ輪鐵ノ幅外ニ出テタル部分及聯結器ノ下端ハ軌條面上二十五耗ノ高迄下ルコトヲ得

第三十九條 彈機ノ作用ニ因リ上下動ヲ爲ササル部分ハ車輛定規ノ中心線ヨリ測リ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ左右各一米〇二、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ左右各八百四十耗ノ幅内ニ於テ軌條面上五十耗ノ高迄下ルコトヲ得

第四十條 排雪器ハ其ノ作用ニ際シ轉轍器、護輪軌條等アル箇所ヲ除クノ外之ヲ軌條頭ニ接觸セシムルコトヲ得

第四十一條 電氣機關車及電車ノ聚電裝置ノ可動部分ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得

第四十二條 前六條ノ規定ハ輪鐵其ノ他ノ磨損又ハ彈機ノ變形アリタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第二節 輪軸距

第四十三條 車輛ノ固定輪軸距ハ線路ノ最小曲線半徑ニ應シテ之ヲ定ムヘシ但シ軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ四米五七、軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ三米〇五ヨリ大ナルコトヲ得ス

第三節 車輪 (第五號圖)
(面參照)

第四十四條 車輪ノ直徑ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ導輪及從輪ハ六百十耗以上其ノ他ノモノハ七百六十二耗以上
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ四百五十七耗以上

第四十五條 輪鐵ノ幅ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ百十四耗以上百五十二耗以下
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ百二十七耗以下

第四十六條 車輪一對ノ輪鐵內側距離ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七ノモノニ在リテハ九百九十耗以上九百九十六耗以下
 - 二 軌間一米四三五ノモノニ在リテハ一米三五九以上一米三六五以下
 - 三 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ六百九十五耗以上七百二耗以下
- 輪緣ナキ車輪一對ノ輪鐵內側距離ハ之ヲ左ノ寸法迄縮小スルコトヲ得

- 一 軌間一米〇六七ノモノニ在リテハ九百七十八耗
- 二 軌間一米四三五ノモノニ在リテハ一米三四六
- 三 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ六百八十九耗

第四十七條 輪緣ノ高ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ二十五耗以上三十六耗以下
 - 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ二十二耗以上三十耗以下
- 輪緣ノ厚ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七及一米四三五ノモノニ在リテハ十九耗以上
- 二 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ十六耗以上

第四十八條 車輪一對ノ中心線ヨリ輪縁外面迄ノ距離ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

- 一 軌間一米〇六七ノモノニ在リテハ五百十七耗以上五百二十七耗以下
- 二 軌間一米四三五ノモノニ在リテハ七百二耗以上七百十一耗以下
- 三 軌間七百六十二耗ノモノニ在リテハ三百六十七耗以上三百七十五耗以下

第四十九條 前二條ノ規定ハ輪鐵ノ磨損シタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第四節 緩衝器及聯結器

第五十條 車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ備フルコトヲ要ス

緩衝器及聯結器ノ中心ハ軌間一米〇六七ノモノニ在リテハ軌條面上空車ノトキ九百十四耗ヲ超ユルコトヲ得ス滿載車ノトキ八百十二耗ヲ下ルコトヲ得ス

兩側緩衝器中心間ノ距離ノ軌間一米〇六七ノモノニ在リテハ一米二一九トス
機關車ニハ兩端ニ螺旋聯結器ヲ、其ノ他ノ車輛ニハ一端ニ螺旋聯結器、他端ニ連環聯結器ヲ備フルコトヲ要ス

第二項乃至第四項ノ規定ハ中央緩衝聯結器ヲ備フル車輛ニ之ヲ適用セス

第五節 機關車ノ裝置

第五十一條 機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

- 一 汽罐ニハ獨立ニ其ノ用ヲ爲ス二箇以上ノ給水器ヲ備フルコト
- 二 汽罐内部ノ水位ヲ獨立ニ認知シ得ル二箇以上ノ驗水器ヲ備ヘ其ノ一ハ機關手ノ位置ヨリ水位ヲ直ニ認メ得ルモノタルコト
- 三 二箇以上ノ安全弁ヲ備フルコト
- 四 火室ノ頂板ニ可鎔栓ヲ備フルコト
- 五 驗壓器ヲ備ヘ其ノ指針盤ニ實用最高汽壓ヲ表示スルコト
- 六 汽罐ノ火室ニ在ル繫桿ニハ其ノ頂上ニ在ルモノヲ除クノ外總テ其ノ毀損ヲ外部ヨリ發見シ得ヘキ設備ヲ爲スコト
- 七 汽笛ヲ備フルコト
- 八 前後ニ排障器ヲ備フルコト
- 九 煙櫃及灰箱ニハ火粉止ノ設備ヲ爲スコト
- 十 他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ働輪及炭水車ノ車輪ニ働クヘキ手用制動機ヲ備フルコト

第六節 客車及緩急車

第五十二條 客車内ノ面積ハ旅客定員一人ニ付平均〇、二八平方米ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立

乗客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ在リテハ之ヲ〇、二三平方米迄縮小スルコトヲ得

第五十三條 客車内ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第五十四條 客車ノ側面ニ在ル扉ニハ二箇ノ閉鎖器ヲ備フルコトヲ要ス

第五十五條 緩急車ニハ他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコトヲ要ス

第七節 汽動車、電氣機關車及電車

第五十六條 汽動車ニハ機關車及客車ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十七條 電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

- 一 特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ設クルコト
- 二 自動遮斷器ヲ設クルコト
- 三 架空線式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト
- 四 警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト
- 五 前後ニ排障器ヲ備フルコト
- 六 他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十八條 汽動車及電車ニハ乗務員間ノ合圖器ヲ備フルコトヲ要ス

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規程ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊規程ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則 (昭和五年六月三十日)

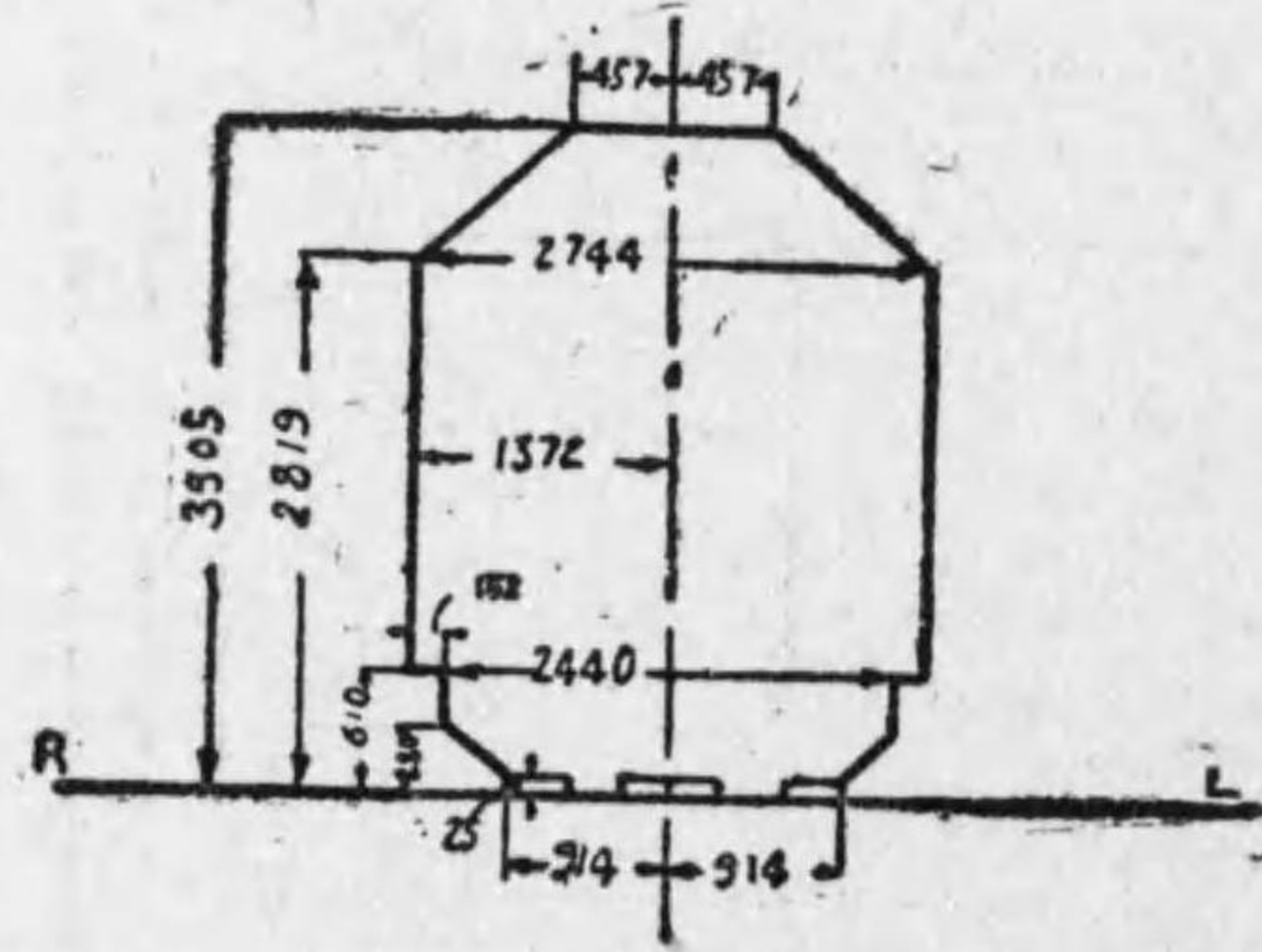
(鐵道省令第十號)

本令ハ昭和五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

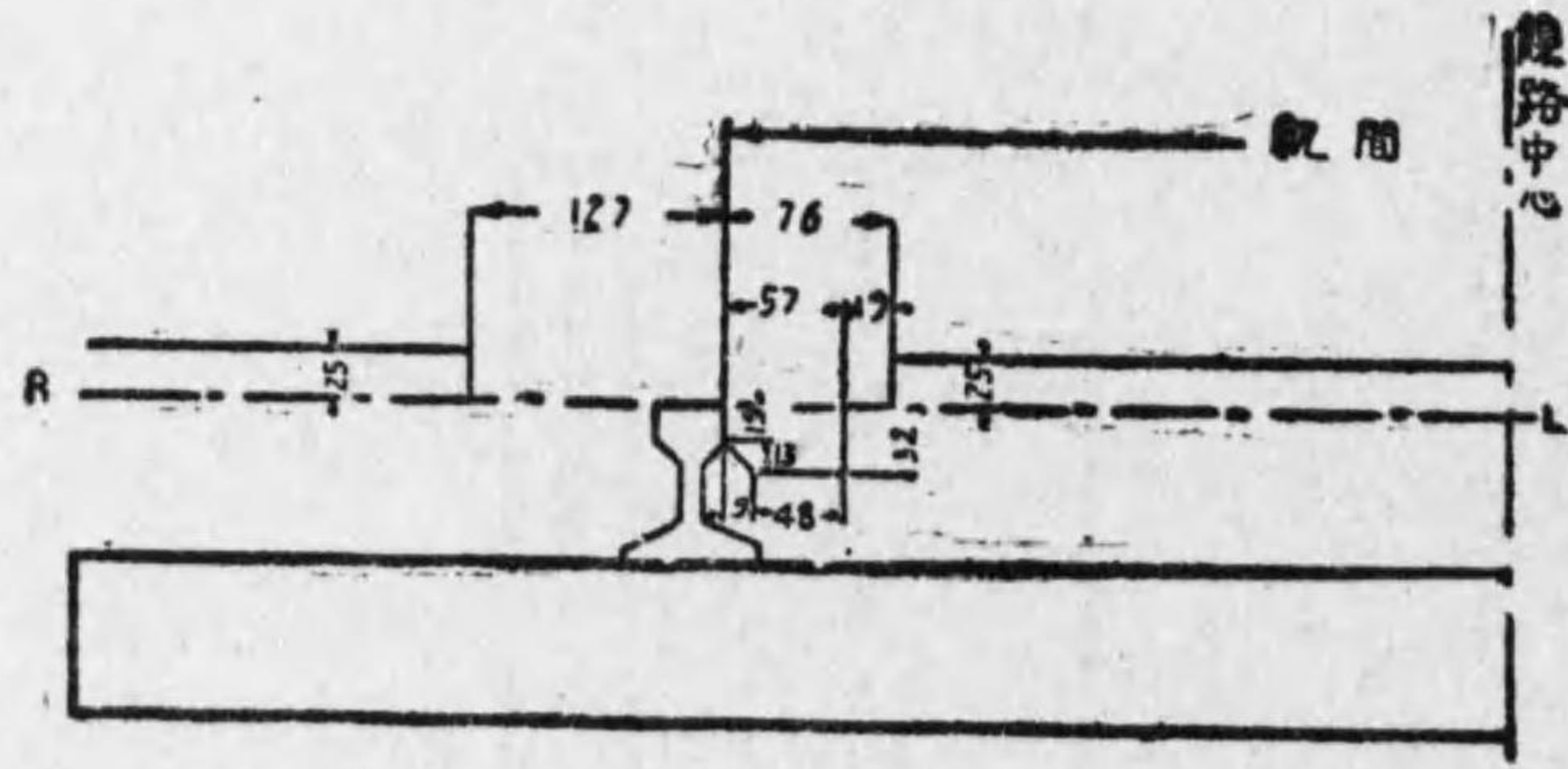
圖面

地方鐵道建設規程

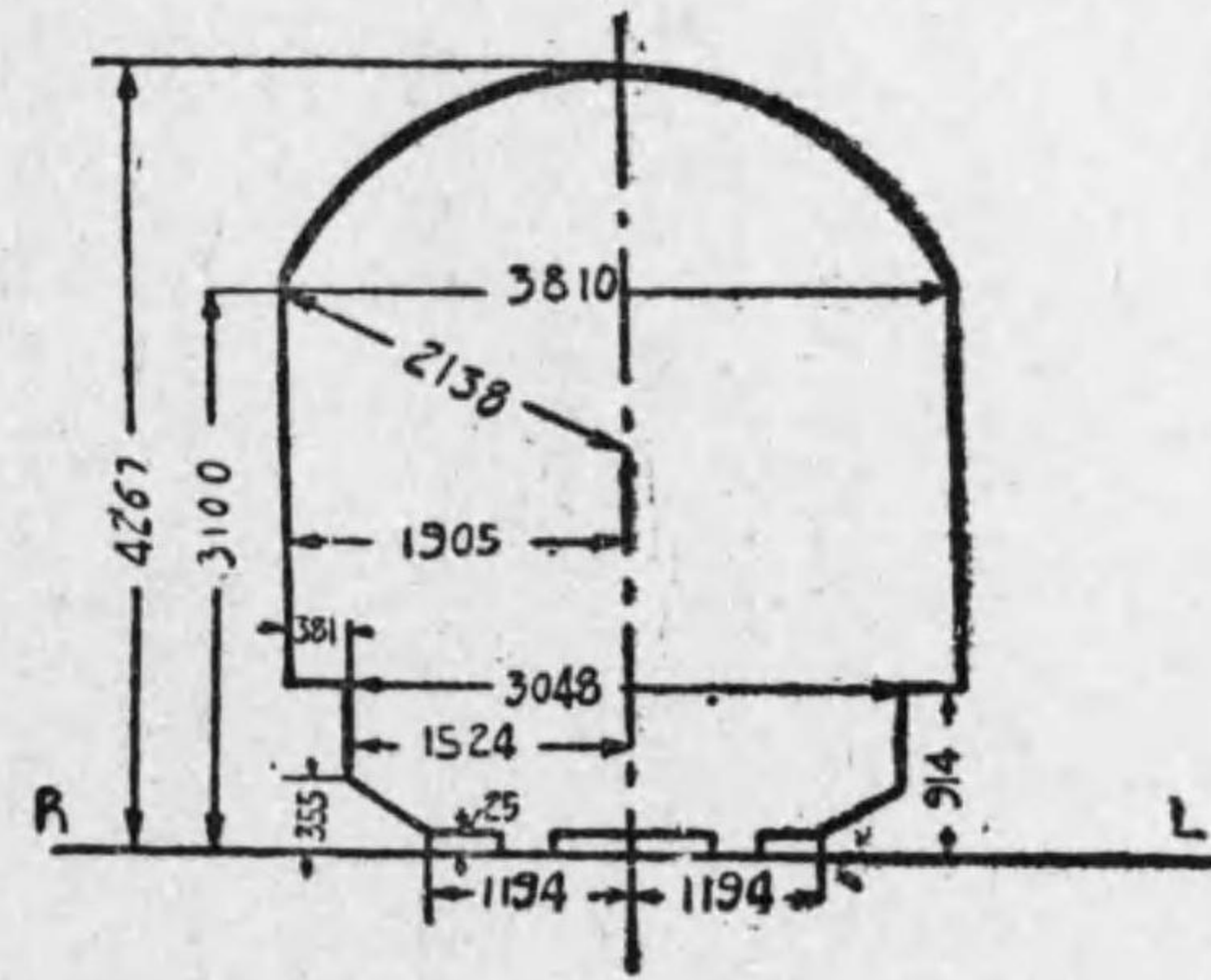
第二號圖面 (單位耗)
建築定規
軌間 七百六十二耗



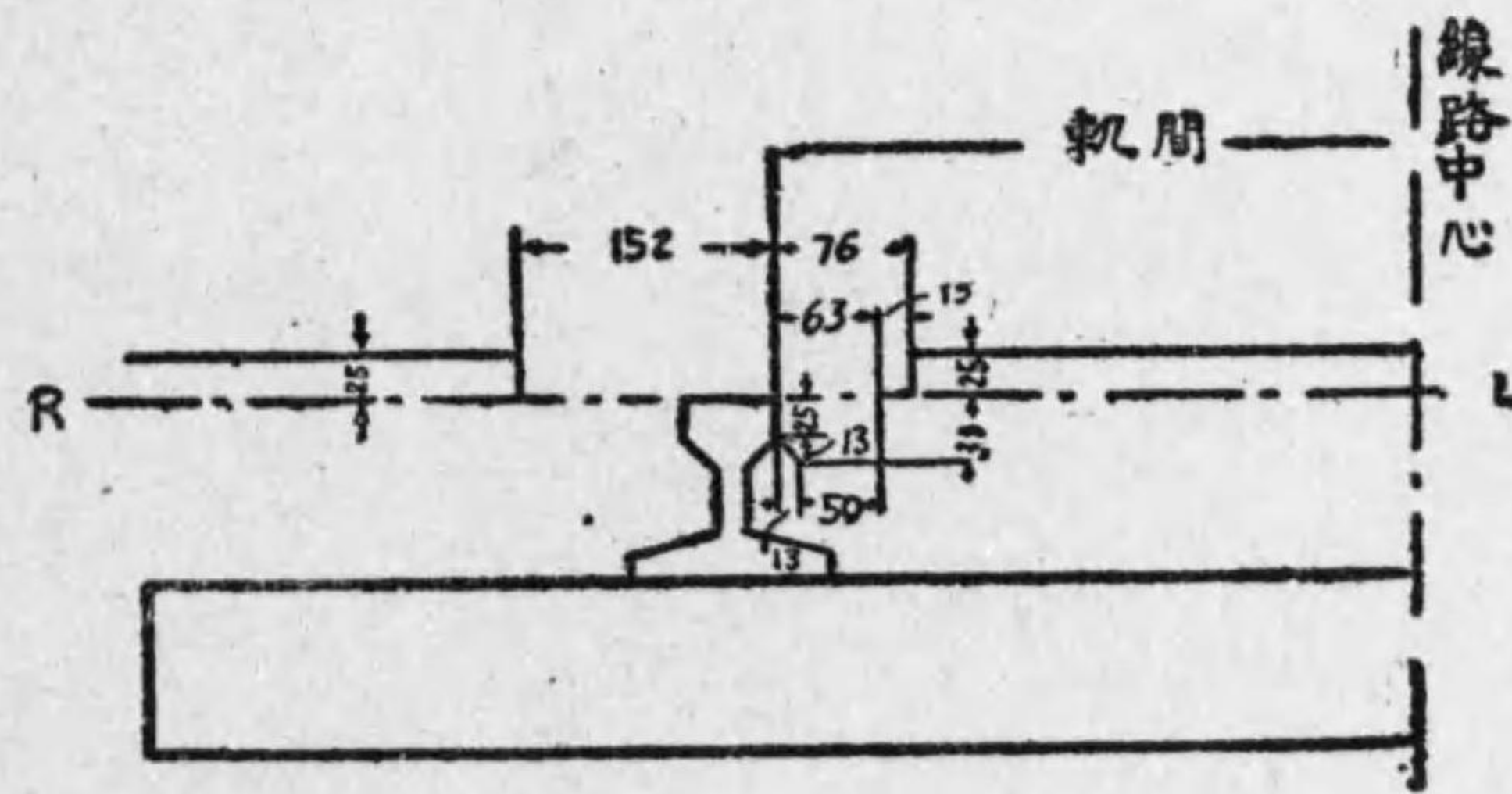
建築定規軌條部分明細圖



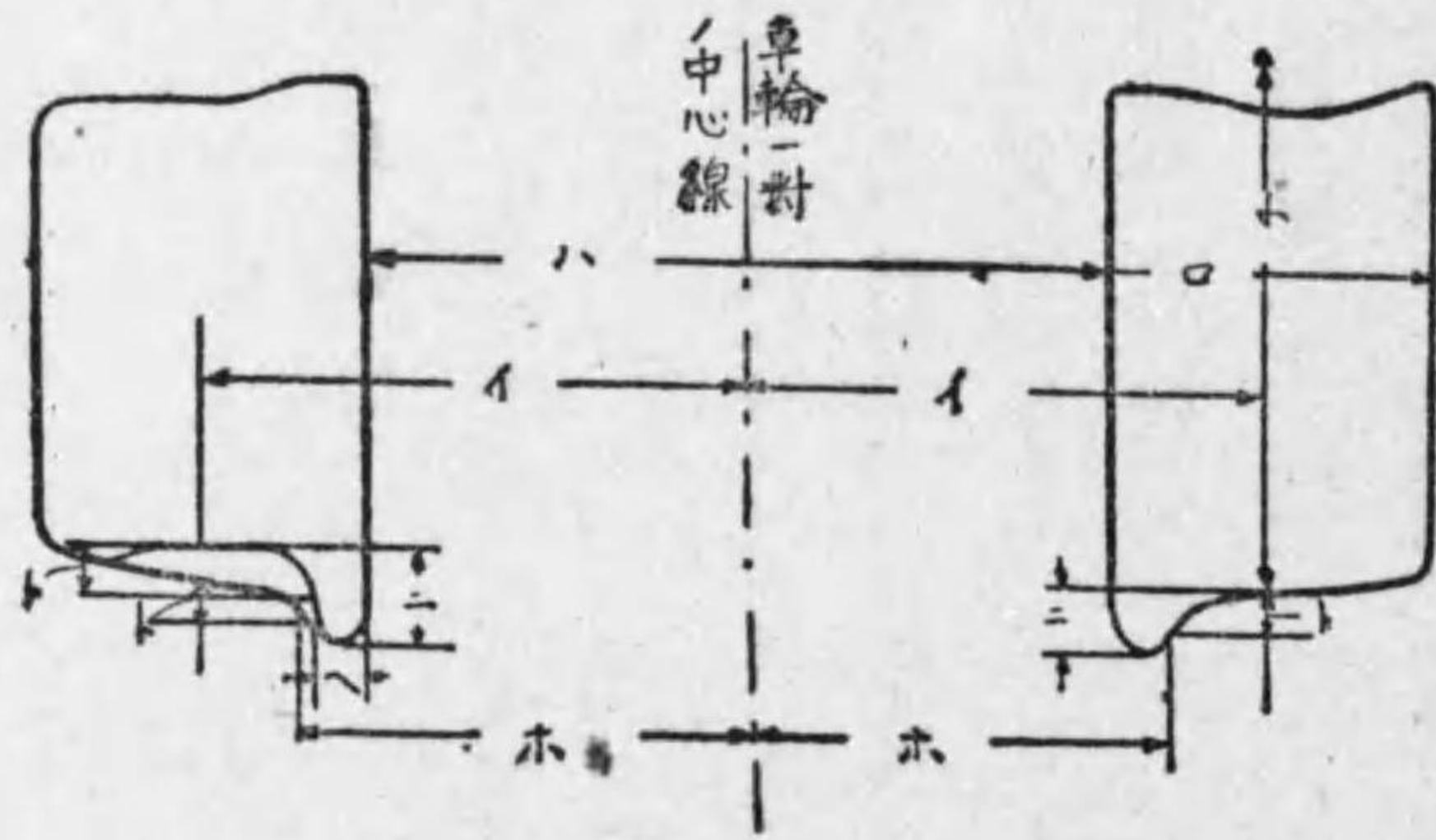
第一號圖面 (單位耗)
建築定規
軌間 一米四三五
一米〇六七



建築定規軌條部分明細圖

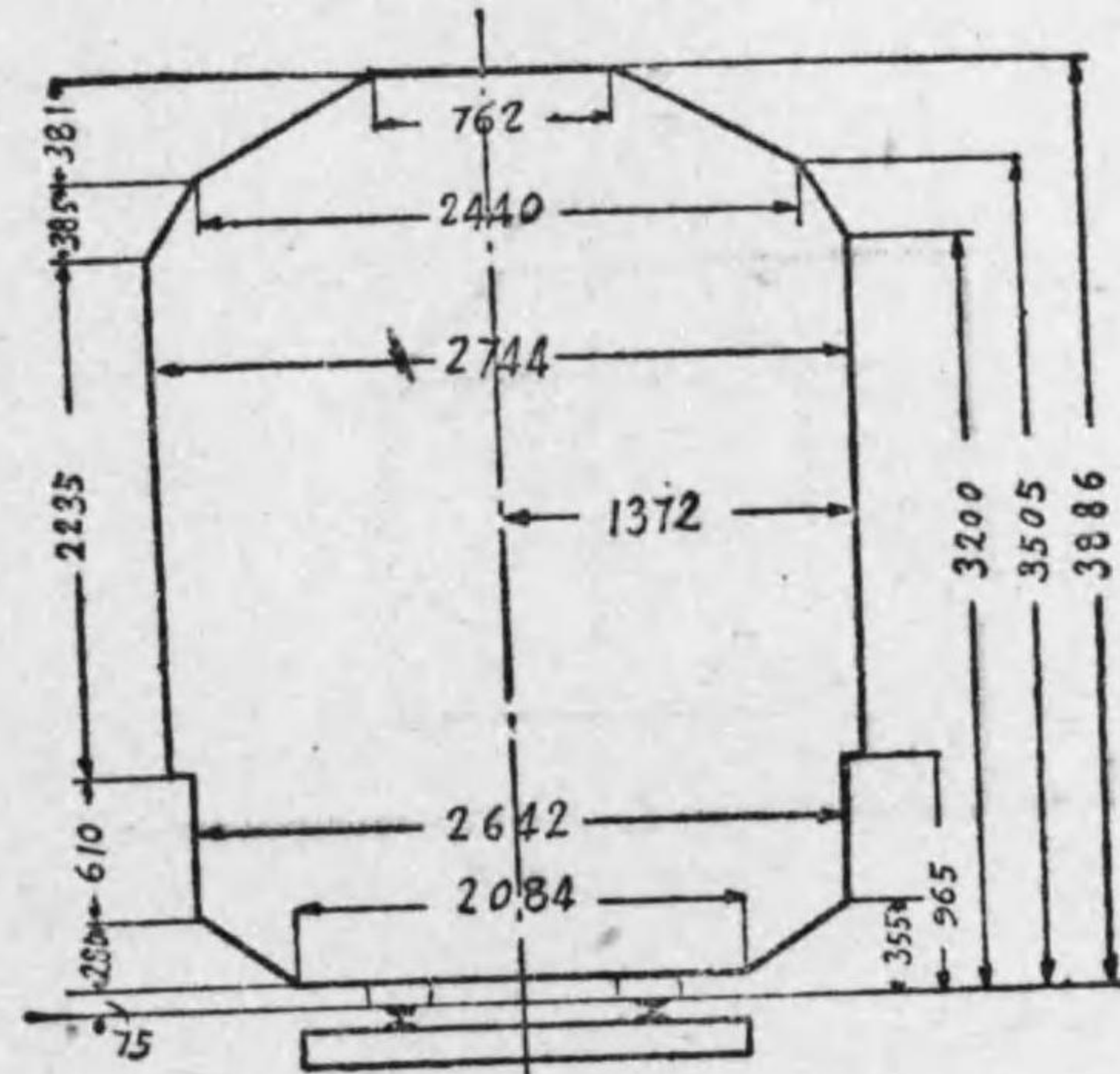


第五號圖面 (單位耗)
輪鐵各部之度方

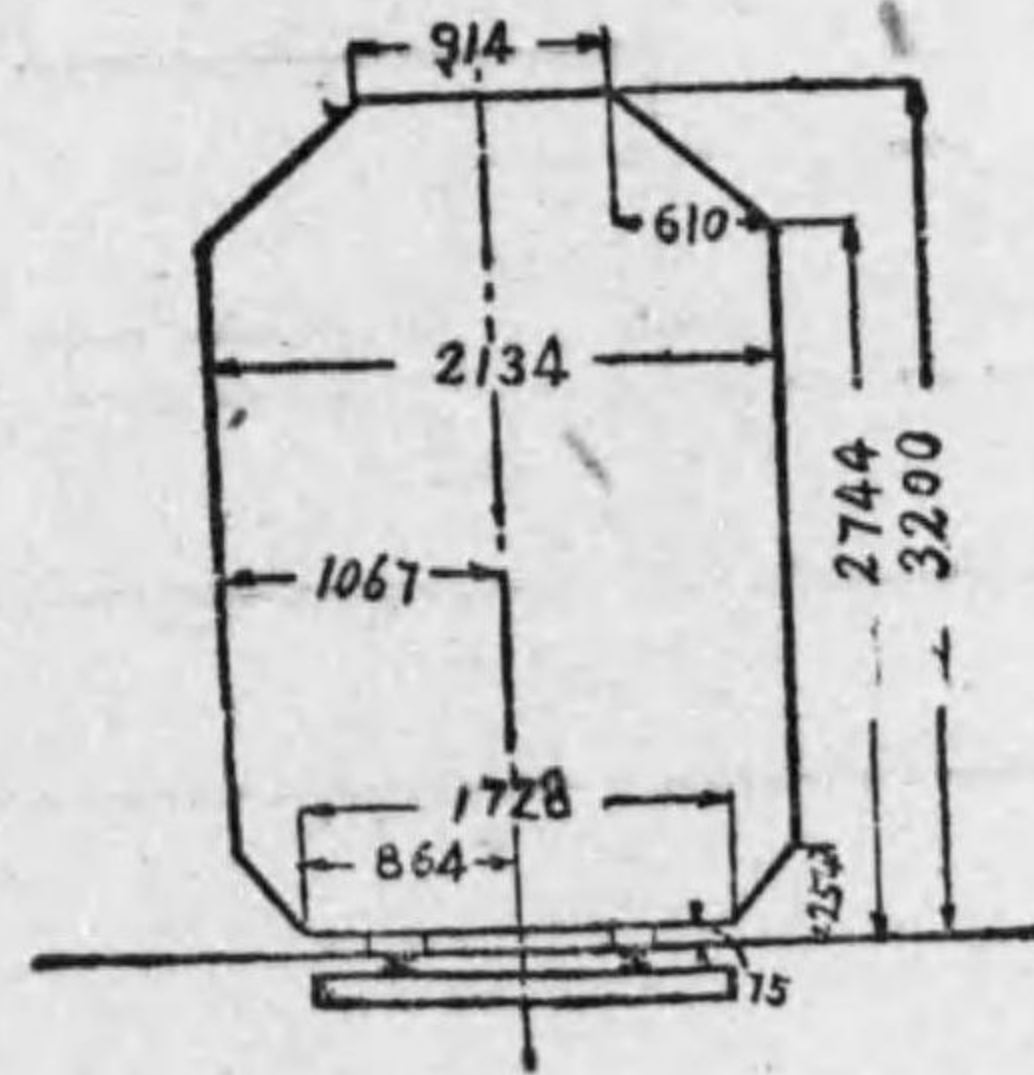


軌間	一米〇六七	一米四三五	七百六十二耗
イ. 車輪一對ノ中心線ヨリ輪踏面迄ノ距離	559	743	400
ロ. 輪鐵ノ幅	114 以上 152 以下	114 以上 152 以下	102 以上 127 以下
ハ. 車輪一對ノ輪鐵内側距離	990 以上 996 以下	1359 以上 1365 以下	695 以上 702 以下
ニ. 輪緣ノ高	25 以上 36 以下	25 以上 36 以下	22 以上 30 以下
ホ. 車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離	517 以上 527 以下	702 以上 711 以下	367 以上 375 以下
ヘ. 輪緣ノ厚	19 以上	19 以上	16 以上
ト. (イ)ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	13	13	10
チ. 車輪ノ直徑	導輪及從輪ハ 610 以上 其他ノモノハ 762 以上	導輪及從輪ハ 610 以上 其他ノモノハ 76 以上	457 以上

第三號圖面 (單位耗)
車輛定規
軌間 一米四三五
一米〇六七



第四號圖面 (單位耗)
車輛定規
軌間 七百六十二耗



○地方鐵道運轉信號保安規程

(大正八年八月十三日
閣令第一二二號)

改正(昭和五年六月同十四年八月
鐵道省令第一二號同第六號)

第一章 總則

第一條 地方鐵道ノ運轉、信號及列車保安ハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本規程ニ依ラサルコトヲ得

鐵道大臣ハ鐵道ノ狀況ニ依リ本規程ニ依ラサル特別ノ運轉、信號及列車保安ヲ命スルコトヲ得

第二條 蒸氣機關車、汽動車、電氣機關車及電車ニ付テハ第二十一條及第二十三條ノ規定ヲ除クノ外列車ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 運轉

第一節 線路

第三條 線路ハ列車ヲ安全且正確ニ運轉スルコトヲ得ヘキ狀態ニ之ヲ保持シ毎日少クトモ一回保線係員ヲシテ巡視セシムヘシ

第四條 轉轍器ハ左ノ方向ニ開クヲ以テ其ノ定位トスヘシ

一 本線路ト本線路トノ場合ハ列車カ通常進入スヘキ方向

二 幹線ト支線トノ場合ハ幹線ノ方向

三 本線路ト側線トノ場合ハ本線路ノ方向

四 避難線ト本線路又ハ側線トノ場合ハ避難線ノ方向

第五條 本線路ニ於ケル轉轍器ノ取柄ハ列車又ハ車輛ノ對向通過ノ際之ヲ支持スヘシ但シ銷錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六條 交通頻繁ニシテ遠方ヨリ展望スルコト能ハサル踏切道其ノ他必要ナル踏切道ニハ列車運轉中番人ヲ置キ之ヲ看守セシムヘシ但シ夜間交通稀ナル際ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 建築定規ノ限界内ニハ列車ノ運轉ニ支障ヲ及ホス虞アル物ヲ置クコトヲ得ス限界内ニ崩壞スル虞アル物ハ限界外ト雖之ヲ置クコトヲ得ス

第八條 停車場及停留場ニハ日没後ハ少クトモ旅客列車及混合列車發著三十分前ニ點燈スヘシ

第二節 車輛

第九條 車輛ハ安全ニ運轉スルコトヲ得ヘキモノニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

地方鐵道運轉信號保安規程

第十條 製作又ハ購入シタル車輛、重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタル車輛及六月以上使用ヲ停止シタル車輛ハ其ノ各部ヲ検査シ試運轉ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス
蒸氣機關車又ハ汽動車ニシテ製作又ハ購入シタルモノ及其ノ汽罐ニ重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタルモノハ前項ノ検査及試運轉ヲ爲スノ外汽罐試驗ヲ行フニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

電氣機關車又ハ電車ニシテ製作又ハ購入シタルモノ及其ノ電動機ニ重要ナル改造又ハ修繕ヲ爲シタルモノハ第一項ノ検査及試運轉ヲ爲スノ外電動機ノ絶縁耐力試驗ヲ行フニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條 蒸氣機關車及汽動車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

- 一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ焰管、汽罐包套、擔彈機、車輪車軸、軸篋、聯結裝置、緩衝裝置、制動裝置等ヲ取外シテ各部ノ検査及汽罐ノ試驗ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト
- 二 六月ヲ超エサル期間毎ニ汽笛及汽櫃ノ内部、蒸氣管、放汽管、節汽弁、安全弁、檢壓器及眞空計ノ検査ヲ爲スコト
- 三 毎月少クトモ一回火室内部、可熔栓、火粉止器、檢水器、給水器及制動機ノ検査ヲ爲スコト

第十二條 前二條ノ汽罐試驗ニ於テハ標準檢壓器ヲ使用シ汽罐ノ最高實用壓力ニ其ノ三割五分以上ヲ増加シタル水壓ヲ用キ五分時以上之ヲ持續セシムヘシ

第十三條 電氣機關車及電車ニ付テハ左ノ定期検査ヲ行フヘシ

- 一 使用ノ狀況ニ依リ三年ヲ超エサル期間毎ニ擔彈機、車輪車軸、軸篋、聯結裝置、緩衝裝置、制動裝置及電動機、制御裝置其ノ他ノ主要ナル電氣裝置ヲ取外シテ各部ノ検査及電動機ノ絶縁耐力試驗ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スコト
- 二 一年ヲ超エサル期間毎ニ電動機、制御裝置、聚電裝置、開閉器、自働遮斷器、避雷器、布設電線、接續電纜及各種計器ノ検査ヲ爲スコト
- 三 毎月少クトモ一回電路ト大地トノ間ノ絶縁抵抗ヲ最大使用電壓ヲ以テ試驗ヲ行ヒ制動機ノ検査ヲ爲スコト

第十四條 客車及貨車ニ付テハ使用ノ狀況ニ依リ客車ニ在リテハ一年半、貨車ニ在リテハ三年ヲ超エサル期間毎ニ擔彈機、車輪車軸、軸篋、聯結裝置、緩衝裝置、制動裝置等ヲ取外シテ定期検査ヲ行ヒ試運轉ヲ爲スヘシ

汽動車及電車ノ客車部及貨車部ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十五條 第十條、第十一條、第十三條及第十四條ノ規定ニ依リ施行シタル検査及試験ノ年月日及成績ハ之ヲ帳簿ニ記録スヘシ

第十六條 列車ヲ組成スル車輛ハ使用ノ狀況ニ依リ毎日少クトモ一回其ノ要部ヲ検査スヘシ

第十七條 蒸氣機關車及電氣機關車ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ

- 一 所屬鐵道ノ名稱又ハ徽章
 - 二 番號
 - 三 製造所ノ名稱及製造ノ年
 - 四 第十一條第一號又ハ第十三條第一號ノ規定ニ依リ施行シタル最近検査ノ年月
- 客車、貨車、汽動車及電車ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ
- 一 所屬鐵道ノ名稱又ハ徽章
 - 二 記號番號
 - 三 製造所ノ名稱及製造ノ年
 - 四 等級、旅客定員、荷重及自重

五 第十一條第一號、第十三條第一號及第十四條ノ規定ニ依リ施行シタル最近検査ノ年月

第十八條 動力車ニハ列車運轉中ニ生シタル毀損ヲ應急修理スル爲必要ナル器具ヲ備フヘシ

第十九條 蒸氣ヲ有スル機關車及汽動車ハ停止中節汽弁ヲ閉チ轉向機ヲ中央ニ置キ制動機ヲ緊締シ之ヲ看守スヘシ

電氣機關車及電車ノ運轉手其ノ位置ヲ離ルルトキハ制御機ノ取柄ヲ外シ制動機ヲ緊締シ置クヘシ
動力車ト聯結セサル停止中ノ車輛ニハ制動ノ手段ヲ施スヘシ

第二十條 列車ニハ夜間客車ノ内部ニ點燈スヘシ晝間ニ於テモ隧道通過ニ二分時以上ヲ要スルトキ亦同シ

第三節 列車組成

第二十一條 列車ニハ少クトモ左表ニ掲クル割合ニ依リ該列車カ有スル車軸ノ數ニ比例シタル制動機(車側制動機ヲ除ク)ヲ備ヘ適當ナル係員ヲ乗込マシムヘシ

標準 勾配	自軸ニ對 シ制動機 ヲ附スヘ キ軸數			
	列車ノ平均速度 一時間十六糎迄	一時間二十四糎迄	一時間三十二糎迄	一時間四十糎迄
千分ノ四十分ノ急ナリ	四〇	四九		
千分ノ三十分ノ急ナリ	三三	四一		
千分ノ二十分ノ急ナリ	二二	二五	二八	三二
千分ノ十分ノ急ナリ	一八	二〇	二三	二八
千分ノ七分ノ急ナリ	一五	一七	二〇	二五
千分ノ四分ノ急ナリ	一三	一五	一八	二三
千分ノ二分ノ急ナリ	一一	一三	一七	二一
千分ノ十分ノ急ナリ	九	一一	一五	一九
千分ノ七分ノ急ナリ	六	八	一二	一六
千分ノ五分ノ急ナリ	四	七	一〇	一四

制動機ヲ附スヘキ車軸數ノ算出ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 停車場間ニ於テ一糎ヲ距ツル線路ノ二點ヲ連接スル直線ノ勾配中最急ナルモノ又ハ停車場間ノ糎程一糎未滿ナルトキハ兩停車場ヲ連接スル直線ノ勾配ヲ以テ標準勾配ト爲スヘシ
- 二 蒸氣機關車、電氣機關車及電車ノ働輪一軸ハ之ヲ二軸、炭水車ノ一軸ハ之ヲ一軸半、空貨車

ノ一軸ハ之ヲ半軸ニ換算スヘシ

- 三 計算上生シタル一軸未滿ノ端數ハ之ヲ一軸ニ切上クヘシ
- 標準勾配千分ノ四十ヨリ急ナル場合又ハ平均速度一時間四十八糎ヲ超ユルトキニ於ケル制動軸數ハ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第二十二條 制動機ハ其ノ制動力カ列車ニ對シ成ルヘク平等ニ働ク様之ヲ配置スヘシ

第二十三條 列車ノ最後部(推進ノ場合ニハ最前部)ニハ手用制動機ノ裝置アル車輛ヲ聯結スヘシ但シ最後部ノ車輛カ貨車ニシテ之ニ隣接スル車輛ニ手用制動機ノ裝置アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 二輛以上ニ跨ル荷物ヲ積載シタル貨車ハ之ヲ旅客列車及混合列車ニ聯結スルコトヲ得ス但シ特別ノ裝置ヲ施シタル貨車ニ積載スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 列車ニハ夜間前部ニ白色燈、後部ニ赤色燈各一箇ヲ掲クヘシ晝間ニ於テモ延長八百米以上ノ隧道ヲ通過スルトキ亦同シ

第四節 車輛入換

第二十六條 停車場ニ於ケル車輛ノ入換ハ列車カ隣接ノ停車場、停留場又ハ信號所ヨリ該停車場ニ向ヒ出發シタル後ハ相當ノ防護ヲ爲スニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條 車輛ハ適當ニ制動セラレ得ル場合ヲ除クノ外動力車ヲ以テ之ヲ突放スルコトヲ得ス

第二十八條 旅客ノ乗込ミタル車輛又ハ動物若ハ爆發物ヲ積載シタル車輛ノ入換ヲ爲シ又ハ之ト他ノ車輛トノ聯結ヲ爲ス場合ニ於テハ解放ノ儘之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條 車輛ノ入換ヲ爲ス場合ニ於ケル速度ハ一時間十三籽ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十條 蒸氣機關車又ハ電氣機關車ヲ以テ夜間車輛ノ入換ヲ爲ス場合ハ其ノ前部及後部ニ白色燈各二箇ヲ掲クヘシ

第五節 列車運轉

第三十一條 列車カ轉轍器附帶ノ曲線ヲ通過スル場合ニ於ケル速度ハ一時間十六籽ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十二條 列車ハ停車場内ノ運轉其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外左方ノ線ヲ進行スヘシ

第三十三條 列車ハ左ノ場合ニ限り推進スルコトヲ得

- 一 列車ノ前頭ニ於テ制御スルトキ
- 二 停車場内ヲ運轉スルトキ
- 三 列車又ハ線路ニ故障アルトキ

四 工事用列車又ハ停車場外ノ側線ニ出入スル列車ヲ運轉スルトキ

第三十四條 一保安區間ニ於テハ同一軌道ニ同時ニ一列車ノ外運轉スルコトヲ得ス但シ單線ニ於テ標準勾配千分ノ二十ヨリ緩ナルトキニ限り續行列車ヲ運轉スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ續行列車ハ先發列車出發後電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ五分時以上、其ノ他ノモノヲ動力トスルモノニ在リテハ十分時以上ヲ經タル後ニ非サレハ之ヲ出發セシムルコトヲ得ス

第三十五條 列車ハ停車場又ハ停留場以外ノ場所ニ於テ旅客又ハ荷物ノ取扱ヲ爲ス爲停止スルコトヲ得ス

第三十六條 二箇以上ノ列車ノ著發ニ際シ相互ニ本線路ニ支障ヲ及ホス虞アル場合ハ二箇以上ノ列車ヲ同時ニ進入又ハ出發セシムルコトヲ得ス

第三十七條 列車ノ運轉ニ關シテハ當務者ヲシテ左ノ事項ヲ記載シタル報告書ヲ調製セシムヘシ

- 一 列車ノ組成
- 二 始發驛、終著驛及主要驛ニ於ケル發著時刻
- 三 始發驛、終著驛及主要驛ニ於ケル延著發又ハ早著ノ時分及其ノ理由
- 四 其ノ他必要ナル事項

第三章 信號

第一節 總則

第三十八條 信號ハ煙霧風雪等ニ因リ相當ノ距離ヨリ其ノ現示ヲ識別シ難キトキハ夜間ノ法式ニ依

ルヘシ隧道内ニ於テ列車ニ向ヒ信號ヲ現示スルトキ亦同シ

第三十九條 信號ヲ現示スヘキ場所ニ所定ノ法式ニ依ル信號ノ現示ナキトキハ危害信號ト看做スヘシ

第四十條 信號ハ二箇以上ノ線路又ハ二種以上ノ目的ニ之ヲ兼用スルコトヲ得ス

第二節 信號機

第一款 常置信號機

第四十一條 常置信號機ノ主要ナル種類左ノ如シ

- 一 場内信號機 停車場又ハ信號所ニ進入セムトスル列車ニ對スル信號機ニシテ列車カ其ノ防護區域内ニ進入スル可否ヲ表示ス
- 二 遠方信號機 列車カ該信號機ト場内信號機ノ防護區域トノ間ニ於テ停止シ得ヘキ速度ヲ以テ徐行スヘキカ又ハ相當速度ヲ以テ進行スヘキカヲ表示ス
- 三 出發信號機 停車場又ハ信號所ヲ出發又ハ通過セムトスル列車ニ對スル信號機ニシテ其ノ進

行ノ可否ヲ表示ス

前項以外ノ常置信號機ヲ設ケムトスルトキハ鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 同一柱ニ同種類ノ信號二箇以上ヲ現示スル装置ヲ爲シタルトキハ最上位ニ在ルモノハ最左側ノ線路ニ屬シ以下順次右方ノ線路ニ屬ス

第四十三條 常置信號機ハ危害信號又ハ注意信號ヲ現示スルヲ其ノ定位トシ必要ノ場合ニ於テ無難信號ヲ現示ス

第四十四條 常置信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左腕ノ位置又ハ燈色ヲ以テ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一 場内信號機

危害信號(列車停止スヘシ)

晝間 腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

無難信號(列車進行スルコトヲ得)

晝間 腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

地方鐵道運輸信號保安規程

夜間 綠色燈

二 遠方信號機

注意信號(列車徐行スヘシ)

晝間 腕ノ位置水平又ハ橙黃色燈

夜間 橙黃色燈

無難信號(列車進行スルコトヲ得)

晝間 腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

三 出發信號機

場內信號機ノ法式ニ同シ

第四十五條 常置信號機ノ腕ハ長方形トス但シ遠方信號機ノ腕端ハ矢筈形トス

第四十六條 常置信號機ノ腕ハ表面ヲ赤色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ白色線ヲ畫シ背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ黑色線ヲ畫ス

第四十七條 常置信號機ノ信號現示ヲ夜間後方ヨリ識別スル爲左ノ背面光ヲ現示スヘシ但シ特別ノ

設備アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

危害信號又ハ注意信號

大ナル白光

無難信號

小ナル白光

第四十八條 遠方信號機ハ場內信號機カ無難信號ヲ現示シタル後ニ非サレハ無難信號ヲ現示スルコトヲ得ス

第二款 閉塞信號機

第四十九條 閉塞信號機ハ複線ニ於ケル閉塞區間ノ始點ニ之ヲ設置スヘシ

第五十條 閉塞信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左腕ノ位置又ハ燈色ヲ以テ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一 注意信號ヲ現示スル装置アル場合

危害信號(列車停止スヘシ)

晝間 上位及下位ノ腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 上位赤色燈及下位橙黃色燈又ハ赤色燈

無難信號(列車進行スルコトヲ得)

晝間 上位及下位ノ腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 上位及下位綠色燈又ハ綠色燈

注意信號(列車徐行スヘシ)

晝間 上位ノ腕ノ位置下向四十五度及下位ノ腕ノ位置水平又ハ橙黃色燈

夜間 上位綠色燈及下位橙黃色燈又ハ橙黃色燈

二 注意信號ヲ現示スル裝置ナキ場合

危害信號(列車停止スヘシ)

晝間 腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間 赤色燈

無難信號(列車進行スルコトヲ得)

晝間 腕ノ位置下向四十五度又ハ綠色燈

夜間 綠色燈

第五十一條 閉塞信號機ノ腕端ハ注意信號ヲ現示スル裝置アルモノニ在リテハ上位ヲ尖形下位ヲ矢

筈形トシ其ノ裝置ナキモノニ在リテハ之ヲ尖形トス

第五十二條 閉塞信號機ノ腕ハ表面ヲ赤色トシ腕端ニ近ク之ト竝行シテ白色線ヲ畫シ背面ヲ白色ト

シ腕端ニ近ク之ト竝行シテ黑色線ヲ畫ス

第五十三條 閉塞信號機ハ無難信號ヲ現示スルヲ定位トシ列車カ閉塞區間ニ在ル間ハ危害信號ヲ現

示ス

第五十四條 閉塞信號機ハ列車カ閉塞區間ニ進入シタルトキ自働作用ニ依リ危害信號ヲ現示シ列車

カ閉塞區間ヲ通過シタルトキ閉塞區間ノ終點トノ關聯動作ニ依リ無難信號又ハ注意信號ヲ現示ス

ル裝置タルヘシ

第五十五條 閉塞區間ノ終點ニハ始點ニ於ケル閉塞信號機ノ信號現示ヲ複示スル標識ヲ備フヘシ但

シ自働閉塞信號機ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 列車カ自働閉塞信號機ノ危害信號ノ現示ニ依リ停止スル場合ニ於テ三分時ヲ經過スル

モ無難信號又ハ注意信號ヲ現示セサルトキハ一時間十秒ヲ超エサル速度ヲ以テ前方支障ナキ箇所

迄徐行スルコトヲ得

第五十七條 閉塞信號機不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ電氣通信ニ

依リ前方ノ停車場、停留場又ハ信號所ノ承認ヲ受クヘシ

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニ於テハ列車ノ乗務員ニ其ノ旨ヲ通告シ且先發列車カ前方ノ停

車場、停留場又ハ信號所ニ到着スヘキ時刻ヲ經過シタル後ニ非サレハ列車ヲ出發セシムルコトヲ得ス

第三款 臨時信號機

第五十八條 臨時信號機ハ列車ノ停止又ハ徐行スヘキ區域ノ兩端ニ於テ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一 危害信號(列車停止スヘシ)

晝間 赤色圓板

夜間 赤色燈

二 注意信號(列車徐行スヘシ)

晝間 橙黃色圓板

夜間 橙黃色燈

三 無難信號(徐行區域終了)

晝間 綠色圓板

夜間 綠色燈

臨時信號機ノ圓板ノ背面ハ白色トス

第五十九條 單線ニ於テ注意信號ヲ現示スル臨時信號機ハ其ノ背面ヲ綠色トシ反對方面ニ無難信號ヲ現示スルコトヲ得

第三節 手信號

第六十條 手信號ハ信號機ノ設ケナキトキ又ハ之ヲ使用スルコト能ハサルトキハ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一 危害信號(列車停止スヘシ)

晝間 赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ又ハ物體ヲ急激ニ振り廻シ之ニ代フルコトヲ得

夜間 赤色燈ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ何色ノ燈ニテモ急激ニ振り廻シ之ニ代フルコトヲ得

二 注意信號(列車徐行スヘシ)

晝間 橙黃色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

地方鐵道運轉信號保安規程

夜間 橙黃色燈ヲ提示ス

三 無難信號(列車進行スルコトヲ得)

晝間 綠色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高く舉ケ之ニ代フルコトヲ得

夜間 綠色燈ヲ提示ス

第六十一條 一人ニテ同時ニ二箇以上ノ手信號ヲ現示スルコトヲ得ス

第四節 發雷信號

第六十二條 發雷信號ハ雷管ノ爆音ニ依リ信號ヲ現示ス

列車ハ發雷信號ノ現示アリタルトキハ停止スヘシ

第六十三條 發雷信號ハ左ノ場合ニ之ヲ使用スヘシ

- 一 煙霧風雪等ニ因リ相當距離ヨリ夜間ノ法式ニ依ル危害信號ノ現示ヲ確認シ難キトキ
 - 二 事故其ノ他ノ事由ニ因リ列車途中ニ停止シ又ハ線路ヲ一時閉鎖シタルトキ
- 前項第一號ノ場合ニ於テハ危害信號ノ現示アル場所ノ前方四百米以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ
- 第二項第二號ノ場合ニ於テハ停止列車又ハ閉塞線路ノ兩端ヨリ單線ニ在リテハ前後各四百米以上、複線ニ在リテハ後方同距離以上ニ於テ雷管ヲ裝置スヘシ但シ最近ノ停車場、停留場又ハ信號

所ニ其ノ旨ヲ通知シタルトキハ該方面ニ對シ雷管ノ裝置ヲ要セス

雷管ハ相當距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ

第五節 合圖

第六十四條 車輛ノ入換合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一 前進スヘシ

晝間 綠色旗ヲ上下ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ上下ニ動かシ之ニ代フル

コトヲ得

夜間 緩色燈ヲ上下ニ振ル

二 推進スヘシ

晝間 綠色旗ヲ左右ニ振ル但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ左右ニ動かシ之ニ代フル

コトヲ得

夜間 綠色燈ヲ左右ニ振ル

三 停止スヘシ

晝間 赤色旗ヲ提示ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高く舉ケ之ニ代フルコトヲ得

地方鐵道運轉信號保安規程

夜間 赤色燈ヲ提示ス

第六十五條

列車出發ノ際車掌ヨリ機關手又ハ運轉手ニ對シテ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

晝間 片腕ヲ水平ニ伸ヘ手笛ヲ長聲ニ吹ク

夜間 綠色燈ヲ高ク圓形ニ動カシ手笛ヲ長聲ニ吹ク

第六十六條

保線係員、踏切番人等ニ向ヒ直ニ線路ヲ檢査スヘキ旨ヲ通告スル必要アル場合ニ於テ

列車乗務員ノ爲ス合圖ハ左ノ方式ニ依ルヘシ

晝間 帽又ハ他ノ物體ヲ緩ニ振ル

夜間 白色燈ヲ緩ニ振ル

第六十七條

汽笛合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

適度ノ汽笛一聲

一 列車カ運轉ヲ始メムトスルトキハ其ノ他注意ヲ促ストキ

二 列車ノ近ケルヲ停車場、停留場又ハ往來顯繁ナル踏切道ニ知ラシムルトキ

長緩汽笛一聲

短急汽笛三聲

適度ノ汽笛二聲

三 制動機ノ緊締ヲ促ストキ

四 制動機ノ緩解ヲ促ストキ

五 非常ノ事故ヲ警告シ又ハ保線係員ヲ招集スルトキ

短急汽笛數聲

第六節 標識

第六十八條

轉轍器標識ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一 轉轍器

定位ニ在ルトキ

晝間 前方及後方へ中央ニ白色線一條ヲ横ニ畫シタル紫色圓板

夜間 前方及後方紫色燈

定位ニ在ラサルトキ

晝間 前方及後方へ中央ニ黑色線一條ヲ矢筈ニ畫シタル黃色矢羽形板

夜間 前方及後方へ黃色燈

二 脱線轉轍器

定位ニ在ルトキ

晝間 前方及後方へ中央ニ白色線一條ヲ横ニ畫シタル赤色長方形板

夜間 前方及後方へ赤色燈

地方鐵道運轉信號保安規程

定位ニ在ラサルトキ

晝間 前方及後方へ中央ニ黑色線一條ヲ横ニ畫シタル白色圓板

夜間 前方及後方へ綠色燈

第六十九條 夜間車止ノ位置ヲ示ス必要アルトキハ車止ニ白色燈ヲ掲クヘシ

第四章 列車保安

第一節 總則

第七十條 列車保安ハ左ノ法式ニ依ルヘシ但シ閉塞信號機ヲ設置スル區間及全線ヲ通シ二箇以上ノ

列車ヲ運轉スルコトナキ鐵道ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一 複線ノ場合

閉塞器式

二 單線ノ場合

電氣通票器式、通票式又ハ票券式

第七十一條 列車保安ハ左ノ場合ニ限リ指導法ニ依ルコトヲ得

一 事故其ノ他ノ事由ニ因リ一時線路ヲ中斷シ又ハ複線ニ於テ一線ヲ一時閉鎖シタルトキ

二 電氣通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

三 電氣通票器ノ不良ナルトキ

四 通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第七十二條 地方鐵道業者ハ列車保安ノ法式ヲ定メ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七十三條 閉塞器及電氣通票器ニ添裝スル電鈴及電話機ハ列車運轉ノ用ニ供スルノ外他ノ目的ニ

之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二節 閉塞式

第一款 閉塞器式

第七十四條 閉塞器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ニハ閉塞器ヲ備フヘシ

第七十五條 閉塞器ハ閉塞區間ニ列車ノ有無ヲ表示スル腕又ハ燈ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝スヘシ

第七十六條 閉塞器ノ表示ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一 腕ノ位置ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

地方鐵道運轉信號保安規程

向テ左腕ノ位置水平

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右腕ノ位置水平

閉塞區間ニ列車ナシ

腕ノ位置下向四十五度

二 燈ノ色ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

向テ左方

赤色燈

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右方

赤色燈

閉塞區間ニ列車ナシ

白色燈

第七十七條 閉塞器ノ表示ハ對手ノ停車場又ハ信號所ノ閉塞器ノ表示ト聯動シ且列車前方ニ進行ス

ノ表示ハ前方ノ停車場又ハ信號所ヨリ操縱スルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得サル裝置タルヘシ

第七十八條 閉塞器ノ電鈴合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一 列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキ又ハ承認ヲ與ヘムトスルトキ

二打

二 列車到着シタルトキ又ハ之カ應答

四打

三 通信ヲ爲サムトスルトキ又ハ之カ應答

三打

第七十九條 列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ閉塞器ニ依リ前方ノ停車場又ハ信號所ニ

其ノ合圖ヲ爲シ之カ承認ヲ受クヘシ

第八十條 前條ノ承認ハ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ與フルコトヲ得ス

一 閉塞區間ニ列車ナキコト

二 承認ヲ與ヘムトスル列車ノ到着線路ニ支障ナキコト

車輛ノ入換ヲ爲ストキ及到着セムトスル列車カ自動車又ハ電車ナルトキハ線路其ノ他ノ狀況ニ依

リ前項第二號ノ條件ヲ具備セサルモ承認ヲ與フルコトヲ得

承認ハ閉塞器ノ表示ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十一條 閉塞器不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ第五十七條ノ規

定ヲ準用ス

第二款 電氣通票器式

第八十二條 電氣通票器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ電氣通票器ヲ備フヘシ

電氣通票器ハ通票ヲ收容シ閉塞區間ニ列車ノ有無及方向ヲ表示スル標識ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添装シ左ノ條件ヲ具備スル裝置タルヘシ

一 通票ハ對手ノ停車場又ハ信號所ト協同スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

二 閉塞區間ノ兩端ニ於ケル電氣通票器ニ收容セラレタル通票ハ一箇ニ限り取出スコトヲ得他ノ通票ハ取出サレタル通票ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サル事

三 電氣通票器ニハ隣接閉塞區間ニ使用スル通票ヲ納入シ得サルコト

第八十三條 列車ハ當該閉塞區間ノ通票ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第八十四條 隣接閉塞區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第八十五條 列車ノ運轉ニ使用シタル通票ハ之ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ他ノ列車ノ運轉ニ使用スルコトヲ得ス

第八十六條 第七十八條乃至第八十條ノ規定ハ電氣通票器式ニ之ヲ準用ス

第三款 通票式

第八十七條 通票式ヲ施行スル區間ニハ通票ヲ備フヘシ

通票ハ一閉塞區間一箇トス

第八十八條 通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

第八十九條 第八十三條及第八十四條ノ規定ハ通票式ニ之ヲ準用ス

第三節 票券式

第九十條 票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一保安區間一箇トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第九十一條 通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通票ハ其ノ形狀ヲ異ニスヘシ

第九十二條 通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記スヘシ

隣接保安區間ノ通券ハ其ノ色ヲ異ニスヘシ

第九十三條 通券ハ當該保安區間ノ通票ヲ以テスルニ非サレハ開クコトヲ得サル通券函ニ之ヲ保管

スヘシ

通券ハ列車ニ授與スルトキニ非サレハ通券函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス

第九十四條 列車ハ當該保安區間ノ通票又ハ通券ヲ携帯スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スル事ヲ得

ス

第九十五條 通券ハ同一保安區間ニ二箇以上ノ列車ヲ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發列車ニ限
リ之ヲ使用スヘシ

第九十六條 通券ハ發行ノ月日、當該列車番號及通票ヲ携帯スヘキ列車番號ヲ記載シ之ヲ發行スヘ
シ

第九十七條 通券ヲ携帯スル列車ハ退行スルコトヲ得ス

第九十八條 通券ヲ列車ノ乗務員ニ交付スルトキハ當該保安區間ノ通票ヲ呈示スヘシ

列車ノ乗務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ確認スルニ非サレハ通券ヲ受領スルコトヲ得ス

第四節 指導法

第九十九條 指導法ヲ施行スル場合ニ於テハ一區間一人ノ指導者ヲ定メ赤色ノ腕章ヲ附セシムヘシ

第一百條 指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乗込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ

第一百一條 指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラ
ス

第一百二條 閉塞器式及電氣通票器式ヲ施行スル區間竝閉塞信號機ヲ設置スル區間ニ於テハ電氣通信
ヲ以テ前方ノ停車場又ハ信號所ノ承認ヲ受クルニ非サレハ指導者ハ列車ニ乗込ミ又ハ指導券ヲ發
行スルコトヲ得ス

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニハ第五十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一百三條 列車ハ指導者乗込ムカ又ハ指導券ヲ携帯スルニ非サレハ指導法ヲ施行スル區間ヲ運轉ス
ルコトヲ得

第一百四條 列車ノ乗務員ハ指導者ヨリ直接指導券ノ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ得
ス

第一百五條 指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル列車ニハ指導者ヲ乘
込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外指導法ト他ノ保安法式トヲ併用スルコトヲ得ス

第一百六條 第九十二條、第九十五條乃至第九十七條ノ規定ハ指導券ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス
輕便鐵道營業規程ハ之ヲ廢止ス
本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ニシテ舊規程ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス
舊規程ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○地方鐵道會計規程

(大正八年八月十三日
閣令第一四四號)

改正 (昭和四年十二月 同十四年八月
鐵道省令第四號 同第九號)

第一條 地方鐵道ノ會計ハ本規程ニ依リ之ヲ整理スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケ本規程ニ依ラサルコトヲ得
鐵道大臣ハ必要アリト認ムルトキハ本規程ニ依ラサル特別ノ整理ヲ命スルコトヲ得

第二條 地方鐵道ノ會計年度ハ一年又ハ六月トス

第三條 鐵道及附屬物件ノ建設及改良ニ要スル費用、貯藏物品ノ購入代金、借入金ノ償還金、借入金ノ運輸開始前ニ屬スル利子等ハ資本金、借入金其ノ他ノ資金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第四條 鐵道及附屬物件ノ保存費其ノ他ノ營業費、建設及改良ノ費用ニ充當シタル借入金ノ運輸開始後ニ屬スル利子、株式公賣ニ因リテ生スル差損金等ハ營業收入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第五條 資本減少ニ因リテ生スル差益金ハ缺損ノ填補又ハ財産價格ノ消却ニ充當スルノ外之ヲ處分スルコトヲ得ス

第六條 運輸開始前ニ於ケル雜收入ハ之ヲ借入金ノ利子支拂ニ充當スヘシ

前項ニ依リ借入金ノ利子支拂ニ充當シタル殘額ハ之ヲ商法第九十六條(第二百九十一條改正)ノ規定ニ依ル利息配當ニ充當スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ利子支拂又ハ利息配當ニ充當シタル金額ハ之ヲ建設費ニ算入スルコトヲ得ス

第七條 削除

第八條 貯藏物品ハ原價ヲ以テ之ヲ出納スヘシ

第九條 財産目錄ニ記載スル有價證券以外ノ財産ノ價額ハ實費決算額ヲ超ユルコトヲ得ス

財産價額ヲ消却シタルトキハ消却額ヲ原價ヨリ控除シタル殘額ヲ以テ實費決算額トス

第十條 建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スヘシ但シ全部ヲ營業費ニ算入スルコトヲ妨ケス

第十一條 地方鐵道業者カ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テハ鐵道及他ノ事業ニ關聯スル興業費、營業費又ハ營業收入ハ當該營業年度ニ於ケル興業費、營業費又ハ營業收入ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スヘシ

鐵道及他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スヘシ但シ全部ヲ營業費ニ算入スルコトヲ妨ケス

第十二條 第十條ノ規定ハ地方鐵道業者カ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於ケル他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ニ付之ヲ準用ス

第十三條 區間ヲ分チテ建設費ヲ整理スル場合ニ於テ各區間ニ關聯スル建設費ハ當該營業年度ニ於ケル各區間ノ建設費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スヘシ

附則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

私設鐵道株式會社會計準則及輕便鐵道會計準則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際地方鐵道會社カ現ニ有スル會社ノ株式ニ付テハ本令施行後六月内ニ許可ヲ申請スヘシ

附則 (昭和十四年八月鐵道省令第九號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ改正規定ハ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○地方鐵道係員職制

(大正八年八月十三日
關令第一三號)

改正 昭和十四年八月
鐵道省令第六號

第一章 總則

第一條 地方鐵道ノ係員職制ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ別ニ職制ヲ定メ鐵道大臣ニ之ヲ届出ツヘシ

第二章 運輸係員

地方鐵道係員職制

第二條 地方鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運	輸	長	助	役	出	札	掛	改	札	掛	貨	物	掛	小	荷	物	掛	操	車	掛	轉	轍	手	驛	夫	車	掌	機	關	庫	主	任	機	關	助	手	機	關	手	檢	車	手	機	關	夫
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

炭 水 夫

前項ノ係員ハ職務ノ狀況ニ係リ二以上ノ係員ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第三條 運輸長ハ鐵道ノ運輸、運轉及車輛ノ修理、保管ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第四條 驛長ハ運輸長ノ指揮ヲ承ケ驛務ヲ處理シ構内ノ秩序ヲ保持シ所屬係員ヲ監督ス

第五條 助役ハ驛長ヲ補佐シ又ハ之ヲ代理ス

第六條 出札掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ乗車券ノ發賣ニ從事ス

第七條 改札掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ乗車券ノ検査及取集ニ從事ス

第八條 貨物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第九條 小荷物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ手小荷物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第十條 操車掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及信號機ノ取扱ニ從事ス

第十一條 轉轍手ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス

第十二條 驛夫ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ掃除、荷物ノ積卸、運搬等ノ雜務ニ從事ス

第十三條 車掌ハ運輸長ノ指揮ヲ承ケ列車ノ運轉及旅客荷物ノ輸送ニ從事ス但シ列車カ停車場ニ在

ルトキハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

車掌ハ車内ノ秩序ヲ保持シ必要アルトキハ旅客ニ對シ相當ノ指圖及處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條 機關庫主任ハ運輸長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第十五條 機關手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ車掌、列車カ停車場ニ在ルトキハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第十六條 機關助手ハ機關庫主任ノ指示ヲ承ケ機關手ヲ補助ス但シ機關車乗務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第十七條 檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢査及注油ニ從事ス

第十八條 機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ掃除ニ從事ス

第十九條 炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ搭載、給水等ノ雜務ニ從事ス

第三章 保線係員

第二十條 地方鐵道ニ左ノ保線係員ヲ置ク

- 保線長
- 保線手
- 線路工夫

踏切番

第二十一條 保線長ハ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十二條 保線手ハ保線長ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ從事シ所屬係員ヲ監督ス

第二十三條 線路工夫ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ看守、修理及保存ニ從事ス

第二十四條 踏切番ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ踏切道ノ看守ニ從事ス但シ停車場構内踏切道ノ看守ニ付テハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第四章 電氣係員

第二十五條 電氣ヲ動力トスル地方鐵道ニ左ノ電氣係員ヲ置ク

- 電氣長
- 發電所主任
- 變電所主任
- 電路主任
- 電車庫主任
- 運轉手

電 工

電 氣 工 夫

第二條第二項ノ規定ハ電氣係員ニ之ヲ準用ス

第二十六條 電氣長ハ電氣ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十七條 發電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ發電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十八條 變電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ變電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十九條 電路主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器械ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十條 電車庫主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電車庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十一條 運轉手ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ電氣機關車及電車ノ運轉ニ從事ス

第十五條但書ノ規定ハ運轉手ニ之ヲ準用ス

第三十二條 電工ハ發電所主任、變電所主任又ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ器械ノ檢査及修理其ノ他ノ雜務ニ從事ス

第三十三條 電氣工夫ハ電路主任ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器械ノ看守、修理及保存ニ從

事ス

附 則

本令ハ大正八年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道係員職制ハ之ヲ廢止ス

本令ニ依リ届出ツヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ届出ヲ爲シタルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○地方鐵道運賃割引規程

(昭和十年五月二十三日
鐵道省令第一號)

改正 昭和十四年八月
鐵道省令第八號

第一條 地方鐵道業者臨時ニ運賃ノ割引ヲ爲サントスルトキハ本規程ノ定ムル所ニ依ルベシ

第二條 地方鐵道業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ片道運賃及往復運賃ニ限リ其ノ五割以
内ノ割引ヲ爲スコトヲ得但シ割引期間ハ同一區間ニ對シ一年ヲ通ジテ九十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 季節ニ依リ旅客ヲ誘致スルトキ
- 二 祝祭日、緣日、記念日等多數旅客ノ集散スルトキ

地方鐵道運賃割引規程

第三條 地方鐵道業者ハ特ニ出荷獎勵ノ必要アル場合ニ於テ荷物運賃ノ五割以内ノ割引ヲ爲スコトヲ得但シ割引期間ハ同一區間ニ對シ一品名ニ付一年ヲ通ジテ百八十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他之ニ準ズベキ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ旅客、復舊建築材料、救恤品等ノ無貨運送又ハ運賃ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第五條 地方鐵道業者ハ前三條ノ規定ニ依リ運賃ノ割引又ハ無貨運送ヲ爲ストキハ實施ノ日ヨリ三日以内ニ其ノ理由、期間、區間、割引率其ノ他必要ナル事項ヲ具シ鐵道大臣ニ届出ヅベシ

第六條 地方鐵道業者ハ本規程ニ定ムル割引率、割引期間其ノ他ノ制限ヲ超エテ運賃ノ割引ヲ爲サントスルトキハ所管鐵道局長ノ認可ヲ受クベシ

附則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前地方鐵道業者ガ認可ヲ受ケタル運賃割引準則ハ本令施行ノ日ヨリ之ガ適用ヲ爲スコトヲ得ズ

附則 (昭和十四年八月鐵道省令第八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前鐵道大臣ニ於テ受付ケタル申請書及届書ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

○地方鐵道法施行規則第四十九條營業報告書様式

(大正八年八月二十八日
鐵道院告示第六四號)

改正 (昭和五年六月
省告示第一七九號)

年 月 日

鐵道代表者

鐵道省監督局長宛

年上(下)期自年 月 日
至年 月 日 營業報告書

一 概況 本項ハ事業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於テ行政廳ニ申請シタル事項及其ノ指令ノ要領、商業登記、株主總會、鐵道従事員、株主ニ關スル事項、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務事項ヲ記載スヘシ

二 工事 本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ建設改良及保存工事ニ分チ建設改良工事ニ付テハ當
地方鐵道法施行規則第四十九條營業報告書様式

該期間ニ於ケル工事施行區域、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ係ルモノハ其ノ期間ニ於ケル竣功歩合及工事ノ現況ヲ記シ保存工事ニ付テハ其ノ重要ナルモノノ工程ヲ記載スヘシ車輛ノ増減、修繕、用地ノ増減亦同シ

三 運輸 本項ハ運輸ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル營業日數、旅客及貨物ノ數量、收入總額、一日一籽ノ平均收入、營業費、一日一籽ノ平均營業費等ヲ表記シ前期及前々期ニ比較シテ増減ノ主因ヲ説明シ運轉上重大ナル事故ヲ記載スヘシ

四 會計 本項ハ會計ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル株式ノ増減、株金ノ拂込、借入金社債金、其ノ他會計ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

五 他ノ業務ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ概況ヲ記載スヘシ

六 營業報告書ニハ別表ニ準シ諸表ヲ調製添付スヘシ

株式會社ニ在リテハ提出スヘキ營業報告書等ヲ承認シタル株主總會及當該期間ニ招集シタル臨時株主總會ノ議事要領書ヲ添付スヘシ

第一表

貸借對照表

年 月 日現在

鐵道

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本金		資本金	
未済建設費		特別準備金	
何々間		任意準備金	
軌道業興業費		社債	
船舶運送業興業費		鐵道財團抵當借入金	
出金		借入金	
未收入		當座借越金	
預貯假有現		支拂手形金	
藏出物證券		未拂配當金	
		未假受行立金	
		職員積證越益金	
		前期純補助金	
合 計		合 計	

地方鐵道法施行規則第四十九條營業報告書様式

一四三

備考 1 假出金、未收入金、預金、有價證券（額面又ハ拂込額ヲモ記入スヘシ）未拂金、假受金ハ其ノ内譯及性質ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スヘシ製造物品、機械場勘定、支店勘定アルトキ亦同シ
2 株式ニ優先株、普通株及舊株、新株等ノ區別アルトキハ各金額ヲ欄外ニ記載スヘシ
3 拂込未済資本金ニ付テハ其ノ株數及各株ノ拂込未済金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第三表

利益處分表

自 年 月 日 至 年 月 日

鐵道

收 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
政府補助金		———	
		役員賞與金	
		優先株配當金 (年何割何分)	
		普通株配當金 (年何割何分)	
		———	
		後期繰越金	
合 計		合 計	

備考

- 1 優先株又ハ普通株ニ數種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ
- 2 年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第二表

損益計算書

自 年 月 日 至 年 月 日

鐵道

收 入		支 出		損 益
科 目	金 額	科 目	金 額	
客車收入		保存費		
貨車收入		汽車費		
運輸雜收		運輸費		
		總係費		
		諸稅		
		建設營業關聯費 分擔額		
		計		
		鐵道業負擔諸利子		
計 收 入		社債差損金		
雜 收 入		財產價額消却金		
		雜 損		
		合 計		
合 計		———		
軌道業收入		軌道業支出		
船舶運送業收入		船舶運送業支出		
總 計		總 計		

備考

- 1 雜損ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ欄外ニ説明スヘシ
- 2 各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スヘシ
- 3 鐵道業負擔諸利子ハ其ノ内譯ヲ記載スヘシ
- 4 財產價額消却金ハ其ノ内容ヲ説明スヘシ

借地料	旅費	府縣稅	各事業關聯營業額
何々	停車場料	所得稅附加稅	各事業關聯營業額
汽車費(電車費)	給料	市町村稅	各事業關聯營業額
監督費	乘車券費	計	各事業關聯營業額
給料	何々		各事業關聯營業額
旅費	總本社報		各事業關聯營業額
運轉料	費		各事業關聯營業額
給料	費		各事業關聯營業額

備考

- 1 前期ニ比シ著シキ増減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ
- 2 雜費ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 3 汽車費(電車費)ハ二種以上ノ動力ヲ使用スル場合ハ各動力別ニ項ヲ設ケ區別記載スヘシ

第六表

建設營業關聯費明細表

自 年 月 日 至 年 月 日 鐵道

科目	金額	摘要
工事監督費		
給料		
旅費		
總係費		
報酬		
旅費		
何々		
合計		

備考

- 1 前期ニ比シ著シキ増減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ
- 2 雜費ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
- 3 建設營業關聯費ヲ建設費營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ説明スヘシ
- 4 各事業關聯興業費、各事業興業營業關聯費、各區間關聯建設費、各事業關聯營業收入及各事業關聯營業費アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第七表

鐵道

科 目	豫算額	決 算 額			摘要
		前期末 決算額	當期 決算額	期 計	
	円	円	円	円	
測量及監督費					
用地費					
線路用地					
停車場用地					
川道付換用地					
發電所用地					
變電所用地					
諸手當費					
雜費					
土工費					
線路切取					
線路築堤					
停車場地築					
川道付換					
踏切道垣					
土留石垣					
橋梁橋費					
何川拱橋					
何川外何箇					
溝開暗					

一五(一五二)

- 備考 1 本表ハ建設費豫算ヲ區別
 2 同一豫算ノ區間ニ開業線標準ヲ設ケ之
 ヲ區分説明スヘシ
 3 當期決算額又ハ戻入額ア

第七表

建設費豫算決算對照表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

科 目	豫算額	決 算 額			摘要	科 目	豫算額	決 算 額			摘要	科 目	豫算額	決 算 額			摘要
		前期 決算額	末 決算額	當 期 決算額				計	前期 決算額	末 決算額				當 期 決算額	計	前期 決算額	
測量及監督費 用地費 線路用地 停車場用地 川道付換用地 發電所用地 變電所用地 諸手當費 雜費 土工費 線路切取 線路築堤 停車場地築 川道付換道 踏切石垣 土留梁費 橋何川橋梁 何川拱橋所 何川外何箇 溝橋費 開渠 暗渠	円	円	円	円		伏 樋 費 隧 道 費 何 隧 道 何 隧 道 外 何 箇 所 軌 道 費 軌 條 及 附 屬 品 轉 轍 器 及 轍 叉 枕 木 利 砂 敷 設 費 敷 雜 費 停 車 場 費 何 停 留 所 費 何 停 留 所 費 車 輛 費 (蒸氣)(電氣)機關車 (電動)(附屬)客車 (電動)(附屬)貨車 汽 動 車 費 器 械 場 費 諸 建 物 費 運 送 費	円	円	円	円		建 築 列 車 費 建 築 用 具 費 柵 垣 及 境 界 杭 費 通 信 線 路 費 電 力 線 路 費 送 饋 電 車 線 電 車 線 柱 電 架 線 材 料 ボ 氣 信 號 費 工 電 所 費 發 變 電 係 所 費 總 計 費 各 業 關 聯 興 建 設 費 分 擔 額 聯 營 業 額 合 計 額	円	円	円	円	

備考 1 本表ハ建設費豫算ヲ區別シタル區間毎ニ調製スヘシ

2 同一豫算ノ區間ニ開業線ト未開業線トアルトキハ名線別ニ其ノ合計金額ヲ欄外ニ記載スヘシ但シ正確ニ區分スルコト能ハサルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ之ヲ區分説明スヘシ

3 當期決算額又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ但シ未開業區間ニ在リテハ説明ヲ要セス

第八表

貯藏物品明細表

年 月 日現在 鐵道

種 別	金 額	摘 要
工 事 用 品 軌 條 及 附 屬 品 轉 轍 器 及 轍 文 枕 機 及 附 屬 品 信 號 機 及 附 屬 品 橋 樑 用 品 車 輛 用 品 電 氣 用 品 土 工 用 品 セ ン ト 利 砂 材 鐵 材 石 材 木 材	円	
運 轉 用 品 石 炭 油 脂 絲 屑		
營 業 及 事 務 用 品 乘 車 券 類 被 服 類 薪 炭 類 備 用 品		
合 計		

備考 假出物品アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

地方鐵道法施行規則第四十九條營業報告書様式

第九表

職員表

年 月 日 現在

鐵道

職名	人員	給料月額 円	諸給月額 円	與興額 円	職名	人員	給料月額 円	諸給月額 円	與興額 円
社長					線長				
役員					手番				
取締役					線長				
専務					保線				
常取					保線				
取監					踏切				
支配					計				
庶務					電氣				
書配					電發				
記人					主變				
務記					電				
計					保				
					長				
					手				
					夫				
					番				
					一				
					計				
					電				
					發				
					主				
					變				
					主				
					計				
					電				
					氣				
					工				
					夫				
					一				
					計				
					合				
					計				

職名	人員	給料月額 円	諸給月額 円	與興額 円	職名	人員	給料月額 円	諸給月額 円	與興額 円
掌車					電主				
任手					運電				
手助					電氣				
手夫					工				
夫					一				
一					計				
計					合				
計					計				
車					電				
主					主				
機					運				
關					電				
助					氣				
手					工				
夫					一				
一					計				
計					合				
計					計				
車					電				
主					主				
機					運				
關					電				
助					氣				
手					工				
夫					一				
一					計				
計					合				
計					計				

備考

- 1 給料月額欄ニハ年俸額ハ其ノ十二分ノ一、日給額ハ其ノ三十倍ヲ記載スヘシ
- 2 諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、社宅料、被服代其ノ他時間増手當等ノ諸給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スヘシ
- 3 同一人ニテ他ノ業務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明ニスヘシ

第二表

機關車表

年 月 日現在

鐵道

種	類	噸	輛數	總重量 噸	摘要
蒸氣機關車	テンドー機關車	四輪聯結六輪車			
	タック機関車	計			
電氣機關車	合	計			
	四輪ボボ一車	計			
總計					

- 備考
- 1 噸數ハ小數點以下第二位ニ止メ第三位以下ハ四捨五入ヲナシ計上スヘシ
 - 2 瓦斯機關車ハ本表ニ準シ區分記載スヘシ
 - 3 入換又ハ工事ニ專用スルモノ及修繕中若ハ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ
 - 4 蒸氣機關車ノ總重量ハ各車運轉整備ノトキニ於ケル重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第三表

客車表

年 月 日現在 鐵道

種	類	輛數	員數			手小荷物 室郵室 容積合計	摘要
			定員 二等	定員 三等	計		
ボキ	二等客車	定員 人				立法米	
	二、三等 合造車	定員二等 人 定員三等 人					
	三等客車	定員 人					
	手小荷物緩急車						
	郵便車						
	計						
四輪車	二等客車	定員 人					
	三等客車	定員 人					
	手小荷物緩急車						
	郵便車						
	計						
合計							

備考

- 1 電車、汽動車及瓦斯動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ
- 2 定員總數ハ各車定員ノ合計ヲ記載スヘシ
- 3 修繕中又ハ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

第四表

貨車表

年 月 日現在 鐵道

種 類		輛 數	荷重總計	摘 要
有蓋貨車	ボキ一車	貨物車		
		家畜車		
		緩急車		
			
		計		
	四輪車		
			
			
			
		計		
無蓋貨車	ボキ一車	材木車		
		石材車		
			
		計		
	四輪車		
			
			
			
			
		計		

備考 1 電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ
2 荷重總計ハ各車ノ標記荷重ノ合計ヲ記載スヘシ

第五表

機關車、列車、客車及貨車走行料表

貨物列車聯結		混合列車聯結		合計	
蒸氣機關車牽引		蒸氣機關車牽引		蒸氣機關車牽引	
電氣機關車牽引		電氣機關車牽引		電氣機關車牽引	
汽動車牽引		汽動車牽引		汽動車牽引	
電車牽引		電車牽引		電車牽引	
計		計		計	
蒸氣機關車牽引		蒸氣機關車牽引		蒸氣機關車牽引	
電氣機關車牽引		電氣機關車牽引		電氣機關車牽引	
汽動車牽引		汽動車牽引		汽動車牽引	
電車牽引		電車牽引		電車牽引	
計		計		計	
合計		合計		合計	

備考 1 行程ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス
2 自己所屬ノ客車及貨車ニシテ他鐵道走行ノ列車聯結別走行行程不明ナルモノハ單ニ合計ノミヲ記載シ牽引内譯ヲ省略スルコトヲ得
3 借入車ノ走行行程ハ自己車輛走行中ニ計上スヘシ
4 客貨車走行料ハ四輪車一輛、汽動車一輛半、ボギー車ハ二輛ニ換算シテ計算スヘシ
5 瓦斯機關車及瓦斯動車ノ走行料ハ本表ニ準シ記載スヘシ

種

有 限 公 司

貨 車

無 限 公 司

貨 車

備

第五表

機關車、列車、客車及貨車走行料表

口 年 月 日 至 年 月 日

鐵道

種 別	料		程		摘 要
	自己車輛 自機走行 料	他鐵道車輛 自線走行 料	計 料	自己車輛 他鐵道走行 料	
機關車走行料	列車牽引				
	補 助				
	入 換				
列車走行料	合 計				
	旅客列車				
	貨物列車				
客車走行料	合 計				
	旅客列車聯結				
	混合列車聯結				
貨車走行料	合 計				
	貨物列車聯結				
	混合列車聯結				
合 計					

備

- 考 1 料程ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス
- 2 自己所屬ノ客車及貨車ニシテ他鐵道走行ノ列車聯結別走行料程不明ナルモノハ單ニ合計ノミヲ
- 3 記載シ牽引内課ヲ省略スルコトヲ得
- 4 借入車ノ走行料程ハ自己車輛走行中ニ計上スヘシ
- 5 客貨車走行料ハ四輪車一輛、汽動車一輛半、ボギー車ハ二輛ニ換算シテ計算スヘシ

第六表

運轉用燃料、電力及油脂消費額表

自 年 月 日 至 年 月 日

鐵道

種 別		數 量	代 價	摘 要
燃 料	蒸 氣 機 關 車	運轉用	石 炭	斤 円
			
		點火用	石 炭	
			
		計		
	汽 動 車	運轉用	石 炭	
			
		點火用	石 炭	
			
		計		
電 力	電 氣 機 關 車	キログット時		
	電 車			
蒸氣機關車用		礦 油	立	
		種 油		
			
		計		

地方鐵道法施行規則第四十九條統計報告書樣式

油 脂	汽 動 車 用	礦 油			
		種 油			
				
		計			
	電 氣 機 關 車 用	礦 油			
		種 油			
				
		計			
	電 車 用	礦 油			
		種 油			
				
		計			
客 貨 車 用	礦 油				
	種 油				
				
	計				

- 備考 1 數量及代價ハ營業上使用シタルモノ(點燈用油脂ヲ除ク)ノミヲ記載スヘシ
 2 蒸氣機關車、汽動車、電氣機關車及電車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛(借入車ヲ含ム)カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノノミヲ記載シ他ノ鐵道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別記載スヘシ
 3 客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハス自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノノミヲ記載スヘシ
 4 瓦斯機關車及瓦斯動車ニ係ルモノハ本表ニ準シ記載スヘシ

第七表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自 年 月 日 至 年 月 日

鐵道

月	數			量			運			輸			收			入	摘		
	客	客	客	貨	貨	貨	客	客	客	手	手	手	貨	貨	貨			運	運
人	二	三	計	小	小	計	二	三	計	荷	荷	計	口	口	計	雜	雜	計	
人	等	等	人	切	切	人	等	等	人	物	物	物	接	接	物	收	收	物	

備考

1. 貨物吨數ハ小數點以下第一位ニ止メ第二位以下ハ四捨五入ラテ計上スヘシ
2. 定期乗車ハ一日一往復トシ回数乗車ハ其ノ回数、團體及貸切乗車ハ運賃計算人員ニ依リ延人員ヲ乗車券發賣當月分ニ算入シ該乗車券ノ券數、延人員及運賃ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
3. 區間制(發者不明ノモノ)ニ依ル乗車人員計算方ハ次ノ方法ニ依ル
 イ、普通乗車ノ各區券ハ一券ヲ以テ一人トス
 ロ、回数乗車ノ各區券ニ依ルモノハ普通乗車ト同様ニ取扱フモノトス但シ五十區券、百區券等ヲ以テ乗車區數ニ應シ乗車券ヲ使用シ得ルモノニ在リテハ次ノ算式ニ依ル

$$\frac{\text{普通乗車總延區數}}{\text{普通乗車人員}} = \text{一人平均乗車區數}$$

$$\frac{\text{回数乗車總延區數}}{\text{一人平均乗車總數}} = \text{乗車人員(推定)}$$
 以上ノ推定乗車人員ヨリモ實際乗車人員ノ近似數ヲ算出スル方法アルモノハ本算式ニ依ラサルコトヲ得但シ此ノ場合ニ在リテハ其ノ算出方法ヲ説明スヘシ
4. 箇數又ハ頭數ヲ以テ取扱ヒタルモノハ之ヲ疋又ハ疋ニ換算スヘシ
5. 疋ヲ以テ取扱ヒタルモノハ運賃計算疋數ニ依リ之ヲ計上スヘシ
6. 貸切扱又ハ疋ヲ以テ取扱ヒタルモノハ運賃計算疋數ニ依リ之ヲ計上スヘシ
7. 本表ノ運輸收入合計ハ營業報告書營業收入明細表ノ運輸收入ト一致スルモノトス
8. 本表ノ運輸數量ハ第九、第十表所載ノモノト一致スルモノトス

第八表

驛別運輸收入表

區間	驛名	旅客	手小荷物	郵便物	貨物	運輸雜收	合計	摘要	鐵道	
									自	年 月 日 至 年 月 日
		円	円	円	円	円	円			
	計									
	計									
	合計									

- 備考 1 他ノ鐵道ト連帶運輸ヲ爲スモノニ在リテハ他ノ鐵道ニ屬スルモノヲ控除スヘシ
- 2 他ノ鐵道所屬ノ驛ヲ共同使用スル場合ニハ其ノ驛ニ於テ取扱ヒタルモノハ他ノ鐵道扱ニ算入セス其ノ驛名ヲ掲ケ區別記載スヘシ
- 3 區間制及均一制ノ乗車券ニシテ發著驛不明ノモノハ驛名ノ項ニ欄ヲ設ケ一括記載スヘシ
- 地方鐵道法施行規則第四十九條統計報告書様式

第九表

旅客(貨物)各驛相互發著表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

發驛名 (本線)省線 他鐵道線 他	著驛名		(支線)	計
	(本線)省線	他鐵道線		
(支線)				
計				

備考

- 1 定期乗車ハ一日一往復トシ、回数乗車ハ共ノ回数、團體及貸切乗車ハ運賃計算員ニ依リ延人員ヲ乗車券發賣當月分ニ算入スヘシ
- 2 定期、回数及往復乗車券ニ對スル旅客人員ハ兩端驛ニ分記スヘシ
- 3 區間制及均一制ノ乗車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付テハ本表ヲ省略スルコトヲ得但シ一部不明ノ場合ニ於テハ判明セル分ノミニ付本表ヲ作製スヘシ

第十表

旅客(貨物)發著、通過及延料表

自 年 月 日至 年 月 日

鐵道

驛名	下リ		上リ		通過		驛間料	延(延)料	人料	摘要
	發	著	發	著	下リ	上リ				
本線	他鐵道扱									
	支線									
	計									
支線	本線									
	計									

備考

- 1 驛間料ハ營業料ヲ記載スヘシ
- 2 區間制ノ乗車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ乗車延區間數、總區間數及下記算式ニ依リ計算シタル延人料ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得

$$\frac{\text{乗車延區間數}}{\text{總區間數}} \times \text{營業料} = \text{延人料}$$
- 3 均一制ノ乗車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ適當ナル方法ニ依リ延人料ヲ算出シ其ノ計算方法ヲ附記スヘシ

軌
道
法

○軌道法

(大正十年四月十四日
法律第七六號)

改正〔昭四、四
法六一〕

第一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル爲敷設スル軌道ニ之ヲ適用ス

一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 軌道ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ道路ニ敷設スヘシ

第三條 軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ

第四條 前條ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル軌道經營者ハ軌道敷設ニ要スル道路ノ占用ニ付道路管理
者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル道路ノ占用料ニ付テハ命令ノ定ムル
所ニ依ル

第五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スヘシ

天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハ
サル場合ニ於テハ其ノ期間ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第六條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ道路ニ關スル工事ニ付道路管理者ノ許可又ハ

承認ヲ受ケタルモノト看做ス河川法、砂防法及之ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可又ハ認可ニ付亦同シ

第七條 軌道經營者工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事ニ着手シ之ヲ竣功セシムヘシ

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ道路ニ敷設スル軌道工事及之カ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ全部又ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル工事ニ要スル費用ノ負擔ニ付道路管理者及軌道經營者ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第九條 道路管理者道路ノ新設又ハ改築ノ爲必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地ト爲スコトヲ得

第十條 軌道經營者ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第十一條 軌道經營者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金並運輸速度及度數ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃、料金、運輸速度、度數又ハ發著時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十二條 軌道經營者ハ軌條間ノ全部及其ノ左右各二尺ヲ限り道路ノ維持及修繕ヲ爲スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ前項ノ維持及修繕ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル費用ノ負擔ニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九條ノ規定ニ依リ道路敷地ト爲シタルモノニ付テハ第一項ノ維持及修繕ハ道路管理者之ヲ爲スヘシ

第十三條 主務大臣又ハ地方長官ハ監督上必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ヲシテ帳簿、書類及圖面ヲ提出セシメ又ハ監査員ヲ派遣シテ軌道ノ設備、事業ノ狀況並會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

第十四條 軌道ノ建設、運輸、運轉、係員及會計ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十六條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り軌道ノ讓渡又ハ事業若ハ運轉ノ管理

ノ委託若ハ受託ヲ爲スコトヲ得
前項ノ管理ノ委託ヲ受ケタル者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第十七條 公共團體ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ軌道(未タ運輸開始ニ至ラサル線路ヲ含ム)ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
前項ノ規定ニ依リテ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付事業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ軌道經營者ハ殘存開業線路ニ付テハ該線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ求メ未タ運輸開始ニ至ラサル殘存線路ニ付テハ其ノ事業廢止ニ因リテ生スル損失ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 公共團體ニ於テ前條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
公共團體ニ於テ前條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲シタルトキハ特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ承繼ス

第十九條 公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收又ハ補償ヲ爲ス場合ニ於テハ買收價額又ハ補償金額ハ協定ニ依ル協議調ハサルトキハ申請ニ因リ地方鐵道法第三十一條乃至第三十三條又ハ第三十六條ノ二ノ規定ニ準シ算出シタル金額ヲ標準トシテ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十條 公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
公共團體カ第十七條ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テハ軌道經營者ハ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ノ買收ヲ求ムルコトヲ得
前二項ノ場合ニ於テ買收價額ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十一條 削除

第二十二條 軌道會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ特許ハ其ノ效力ヲ失フ

- 一 工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セサルトキ
- 二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ
- 三 事業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ工事施行ノ認可申請期間内ニ會社設立ノ登記ヲ爲ササルトキ

第二十四條 軌道經營者軌道ニ關スル工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ノ指示スル所ニ從

ヒ道路ヲ原狀ニ回復スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ負擔ニ於テ道路管理者ヲシテ前項ノ規定ニ依ル工
事ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官又ハ鐵道
局長ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 地方鐵道法第七條、第八條、第十條第二項、第十一條、第十五條、第十七條、第十九
條第二項、第二十三條第二項、第三項、第二十五條、第二十七條、第三十條乃至第三十六條ノ二
及第三十六條ノ四ノ規定ハ軌道ニ之ヲ準用ス但シ地方鐵道法第七條第二項及第八條中鐵道抵當法
トアルハ明治四十二年法律第二十八號トス

第二十七條 軌道經營者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件
ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト
- 二 他人ヲシテ軌道經營者ノ計算ニ於テ必要ナル施設又ハ事業ノ管理ヲ爲サシムルコト

三 特許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セララルコトヲ得ス

第一項第二號ノ規定ニ依リ事業ノ管理ヲ爲ス者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ當該軌道經營者ト
共ニ其ノ責ニ任ス

第二十八條 特許ヲ受ケスシテ軌道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上
二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 左ノ場合ニ於テハ軌道經營者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

- 一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ
爲シタルトキ

- 二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ
違反シタルトキ

- 三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ

- 四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類圖面ノ提出若ハ調
製ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ

第三十條 前二條ノ規定ハ公共團體カ軌道ヲ經營スル場合ニ之ヲ適用セス

第三十一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル軌道ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス
前項ノ軌道ニ準スヘキモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 國ニ於テ軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議
ヲ爲スヘシ其ノ工事施行ニ付亦同シ

國ニ於テ經營スル軌道ニ付テハ第二條、第十二條第一項、第十四條及第二十四條第一項ノ規定ヲ
除クノ外本法ヲ適用セス但シ第十四條中軌道ノ係員及會計ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ協議ヲ了シタルトキハ第四條及第六條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十二年十二月勅令第五〇八號ヲ以テ同十三年一月一日
ヨリ施行）

軌道條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル特許、認可、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ
於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ特許、認可其ノ他ノ處分ニ附シタル條件ニ

シテ本法ニ牴觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ
他ノ法令中軌道條例トアルハ軌道法トス

附則（昭和四年四月法律第六一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年十二月勅令第三三七號ヲ以テ同年十二月五日ヨリ
施行）

附則（昭和十四年三月法律第二〇號）

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十四年四月勅令第二二六號ヲ以テ第十九條
及第二十五條ノ改正並第二十六條改正中地方鐵道法第三十六條ノ四及第三十六條ノ五ニ關スル部分
ハ四月二十五日ヨリ其ノ他ノ規定ハ昭和十三年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス）
昭和十四年法律第二十號中軌道法第十九條及第二十五條ノ改正ニ關スル規定並軌道法第二十六條ノ
改正ニ關スル規定中地方鐵道法第三十六條ノ四及第三十六條ノ五ニ關スル部分ハ昭和十四年四月二
十五日ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十三年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○軌道法施行規則

大正十二年十二月二十日
內務、鐵道省令

改正（昭四、一二同 五、六
內、鐵令同）

第一條 軌道ノ特許申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 起業目論見書

二 線路豫測圖

三 建設費概算書(第一號様式)

四 運輸事業ノ收支概算書(第二號様式)

軌道ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得サル場合ニ在リテハ其ノ事由書ヲ前項申請書ニ添附スヘシ

第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 目的(旅客運送、荷物運送ノ別)

二 商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地

三 軌道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法

四 線路ノ起終點及併用軌道ノ始終點ノ地名、地番竝其ノ經過市町村名

五 軌道ヲ敷設スヘキ道路ノ種類毎ノ延長、一般幅員及計畫幅員

六 線路ノ延長及單線、複線等ノ別

七 軌間及車輛ノ最大幅員

八 動力(人力、馬力、蒸汽、電氣等ノ別)、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スル

モノニ在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノニ在リテハ

供給者名

第三條 線路豫測圖ハ縮尺二萬五千分一以上ノ平面圖トシ線路ノ經過市町村名、地形、一杆毎及單

線複線等ノ分界點ノ料程、道路ノ種類竝沿線人家連檐ノ狀況ヲ記シ縮尺、方位ヲ示スヘシ

第四條 地方長官特許申請書ヲ受付タルトキハ期限ヲ指定シ軌道敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見

ヲ徵スヘシ

道路管理者ハ前項ノ意見ヲ決定スルニ付期限ヲ指定シ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ議

會ノ意見ヲ徵スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ期限内ニ意見ヲ答申セサルトキハ直ニ之ヲ處理スルコトヲ得

第五條 地方長官ハ特許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ特許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之

ヲ進達スヘシ

一 申請者ノ資産及信用程度

二 事業ノ成否

軌道法施行規則